

藤岡市子ども・子育て支援事業計画に係る  
ニーズ調査結果報告書

【概要（調査結果抜粋）】

平成 26 年 1 月

藤岡市 健康福祉部 子ども課



# 1 調査の概要

## (1) 調査の目的

この調査は、幼稚園・保育所・学童保育室などの教育・保育・子育て支援を計画的に整備※するために、市民の利用状況や利用希望を把握することを目的としています。[この調査の回答（施設や事業の利用希望等）により、施設や事業の利用の可否を決定することはありません]

※子ども・子育て支援法に基づく新たな制度により、教育・保育・子育て支援の充実を図るため、市町村が「子ども・子育て支援事業計画」を作成します（新制度は平成27年度から実施予定）。

## (2) 調査の種類、対象者及び実施概要

この調査の種類と対象者及び実施概要は下表のとおりです。

### ●調査の種類と対象者

種類	対象者	対象者数
就学前児童	平成25年10月1日現在、住民基本台帳に掲載されている就学前の児童を無作為抽出	2,000人

### ●実施概要

種類	対象地域	調査形式	配布・回収方法	調査時期
就学前児童	藤岡市全域	アンケート調査	郵送配布 郵送回収	平成25年 10月22日～11月5日

## (3) 回収結果

この調査の回収結果は下表のとおりです。

### ●回収結果

区分	調査票配布数	有効回収数	有効回収率
就学前児童	2,000	805	40.3%

# 2 集計方法

## (1) 報告書の見方

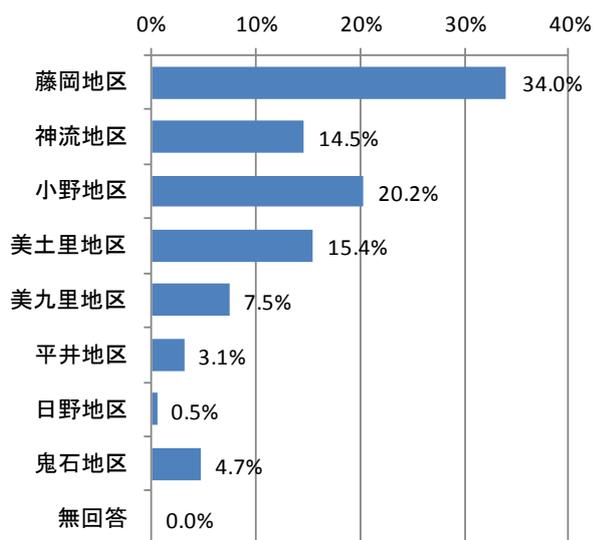
- ・本報告書では、回答すべき箇所が回答されていないものは「無回答」として扱う。
- ・本報告書では、回答する必要のない箇所及び回答すべき箇所でないところを回答している場合は「非該当」として扱う。
- ・設問の構成比は、回答者数（該当設問での該当者数）を基数として百分率（%）で示している。したがって、非該当者数は、構成比に含まれない。

- 比率は全て百分率（％）で表し、小数点以下第 2 位を四捨五入し算出しているため合計が 100％にならない場合がある。
- 複数回答については、回答者数を基数として百分率（％）で示している。したがって、合計値は 100％にならない場合もある。

# 1 お住まいの地域について

## 問1 お住まいの地区として当てはまる答えの番号1つに○をつけてください。

居住地区は、「藤岡地区」の割合が34.0%と最も高く、次いで「小野地区」が20.2%、「美土里地区」が15.4%となっています。

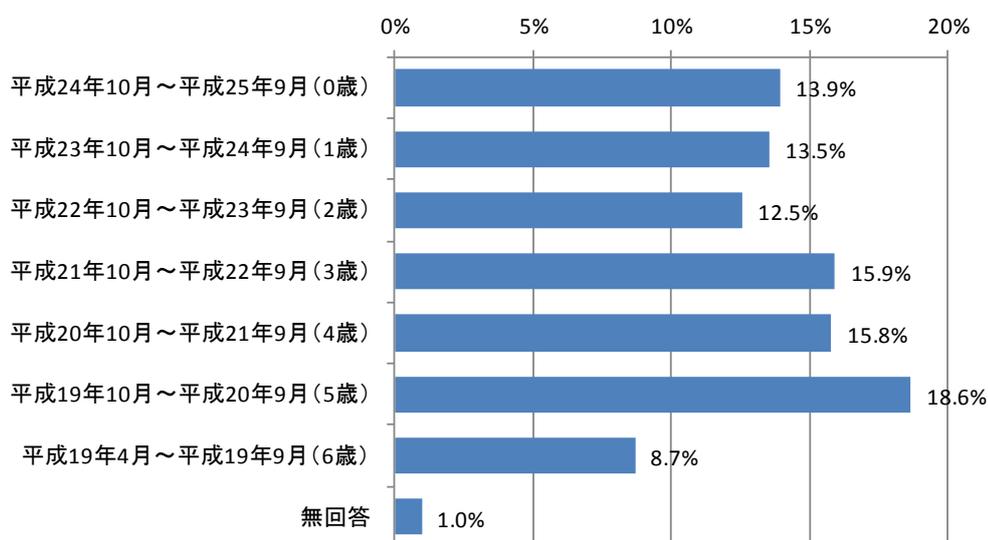


項目	度数	構成比
藤岡地区	274	34.0%
神流地区	117	14.5%
小野地区	163	20.2%
美土里地区	124	15.4%
美九里地区	60	7.5%
平井地区	25	3.1%
日野地区	4	0.5%
鬼石地区	38	4.7%
無回答	0	0.0%
回答者数	805	100.0%

## 2 封筒の宛名のお子さんご家族の状況について

問2 宛名のお子さんの生年月をご記入ください。(口内に数字でご記入ください。数字は一桁に一字。)

子どもの年齢(平成25年10月1日基準)は、「5歳」の割合が18.6%と最も高く、4歳以下はそれぞれ15%前後と同程度の分布となっています。

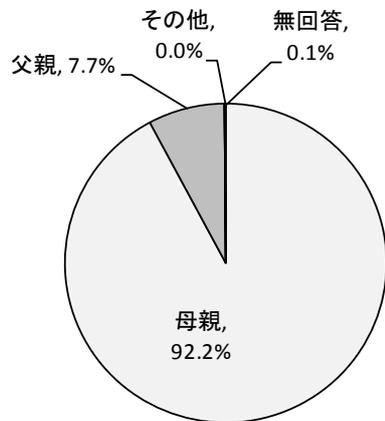


生年月日(年齢)	度数	構成比
平成24年10月～平成25年9月(0歳)	112	13.9%
平成23年10月～平成24年9月(1歳)	109	13.5%
平成22年10月～平成23年9月(2歳)	101	12.5%
平成21年10月～平成22年9月(3歳)	128	15.9%
平成20年10月～平成21年9月(4歳)	127	15.8%
平成19年10月～平成20年9月(5歳)	150	18.6%
平成19年4月～平成19年9月(6歳)	70	8.7%
無回答	8	1.0%
回答者数	805	100.0%

※年齢算出基準日：平成25年10月1日

**問4** この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

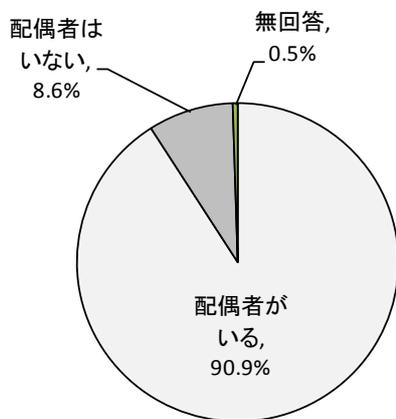
調査票の回答者は、「母親」が 92.2%に対し、「父親」が 7.7%と、「母親」の割合が大きく上回っています。



項目	度数	構成比
母親	742	92.2%
父親	62	7.7%
その他	0	0.0%
無回答	1	0.1%
回答者数	805	100.0%

**問5** この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

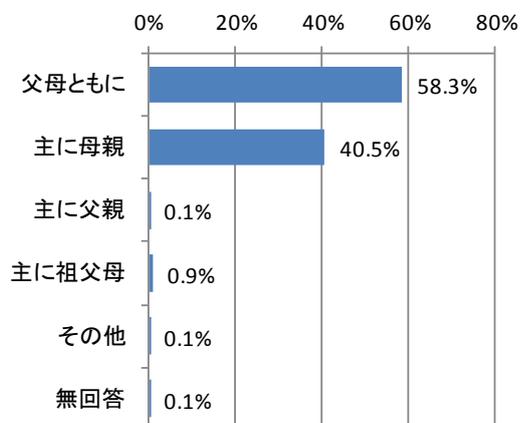
調査票の回答者の配偶関係は、「配偶者がいる」が 90.9%に対し、「配偶者がいない」が 8.6%となっています。



項目	度数	構成比
配偶者がいる	732	90.9%
配偶者がいない	69	8.6%
無回答	4	0.5%
回答者数	805	100.0%

問6 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。お子さんから見た関係で当てはまる番号1つに○をつけてください。

子どもの子育て（教育を含む）を主に行っているのは、「父母ともに」の割合が58.3%と最も高く、「主に母親」が40.5%と続いています。

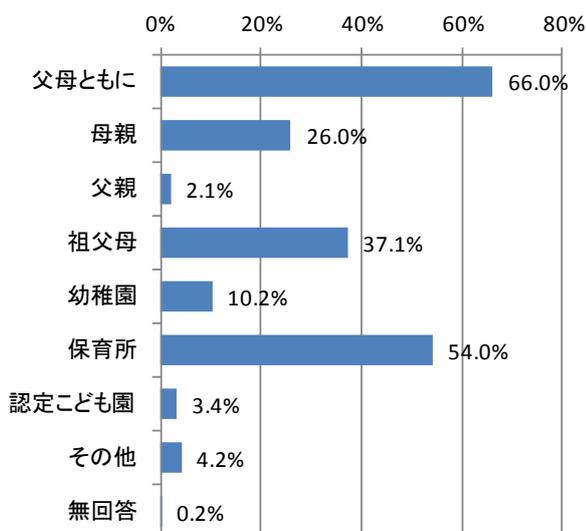


項目	度数	構成比
父母ともに	469	58.3%
主に母親	326	40.5%
主に父親	1	0.1%
主に祖父母	7	0.9%
その他	1	0.1%
無回答	1	0.1%
回答者数	805	100.0%

### 3 子育ての育ちをめぐる環境について

問7 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）に日常的に関わっている方はどなた（施設）ですか。お子さんから見た関係で当てはまる番号すべてに○をつけてください。

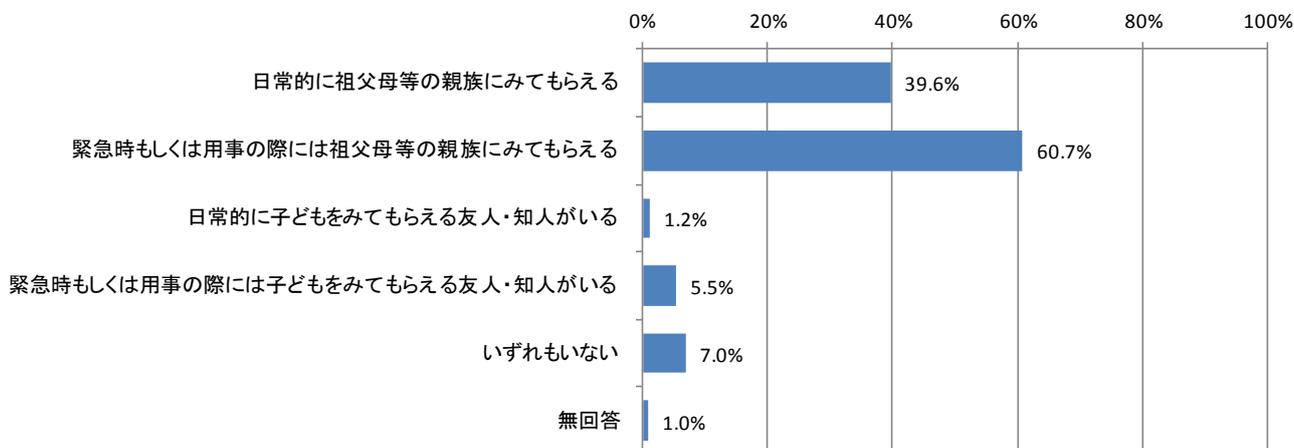
子どもの子育て（教育を含む）に日常的に関わっている方は、「父母ともに」の割合が66.0%と最も高く、「保育所」が54.0%と5割を超え続いています。また、「祖父母」の割合も37.1%と比較的高くなっています。



項目	度数	構成比
父母ともに	531	66.0%
母親	209	26.0%
父親	17	2.1%
祖父母	299	37.1%
幼稚園	82	10.2%
保育所	435	54.0%
認定こども園	27	3.4%
その他	34	4.2%
無回答	2	0.2%
回答者数	805	-

**問9 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。**

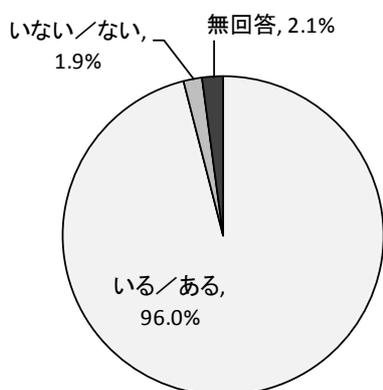
日頃、子どもをみてもらえる親族・知人の有無は、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」の割合が60.7%と最も高く、「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」が39.6%と続いています。



項目	度数	構成比
日常的に祖父母等の親族にみてもらえる	319	39.6%
緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる	489	60.7%
日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる	10	1.2%
緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる	44	5.5%
いずれもない	56	7.0%
無回答	8	1.0%
回答者数	805	-

**問10 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。**

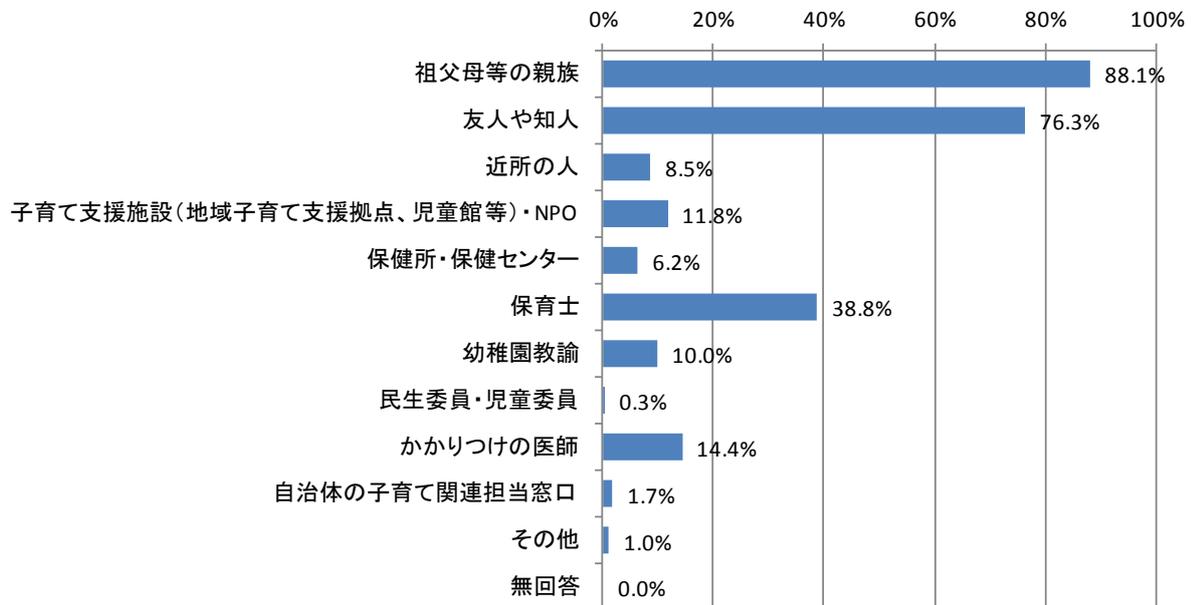
子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人及び場所の有無は、「いる／ある」が96.0%に対し、「いない／ない」が1.9%と、「いる／ある」の割合が大きく上回っています。



項目	度数	構成比
いる／ある	773	96.0%
いない／ない	15	1.9%
無回答	17	2.1%
回答者数	805	100.0%

問 10-1 問 10 で「1. いる／ある」に○をつけた方にうかがいます。お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、「祖父母等の親族（88.1%）」「友人や知人（76.3%）」の割合がいずれも7割を超え高くなっています。



項目	度数	構成比
祖父母等の親族	681	88.1%
友人や知人	590	76.3%
近所の人	66	8.5%
子育て支援施設(地域子育て支援拠点、児童館等)・NPO	91	11.8%
保健所・保健センター	48	6.2%
保育士	300	38.8%
幼稚園教諭	77	10.0%
民生委員・児童委員	2	0.3%
かかりつけの医師	111	14.4%
自治体の子育て関連担当窓口	13	1.7%
その他	8	1.0%
無回答	0	0.0%
回答者数	773	-
非該当	32	-

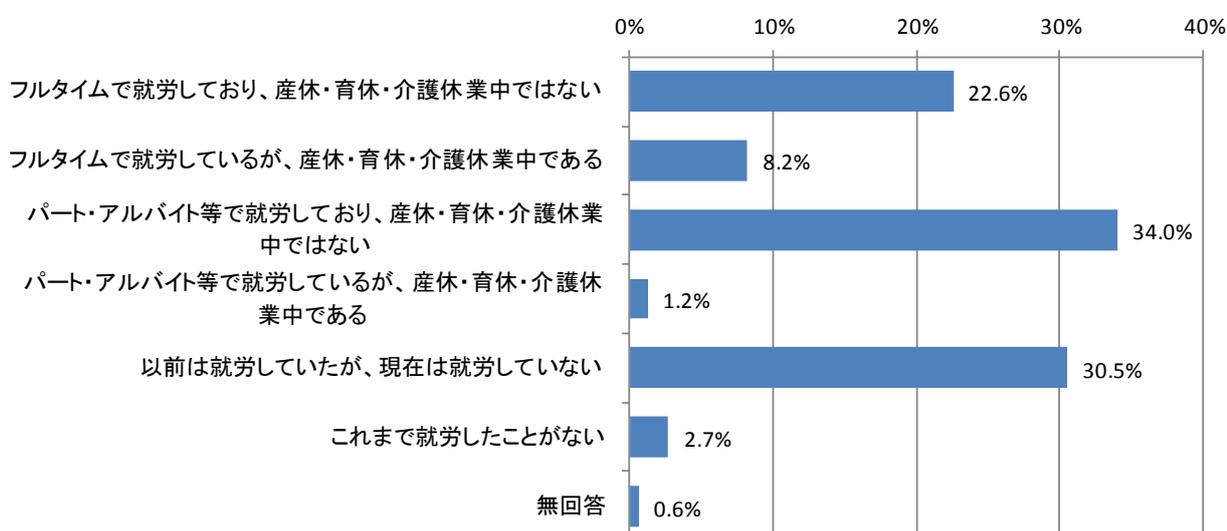
## 4 宛名のお子さんの保護者の就労状況について

問 12 宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。

（1）母親【父子家庭の場合は記入は不要です】当てはまる番号1つに○をつけてください。

「母親」の就労状況は、「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が 34.0%と最も高く、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合は 22.6%となっています。

産休・育休・介護休業中の割合は、フルタイムとパートタイムを含め 9.4%となっています。また、「以前は就労していたが、現在は就労していない」の割合は 30.5%となっています。

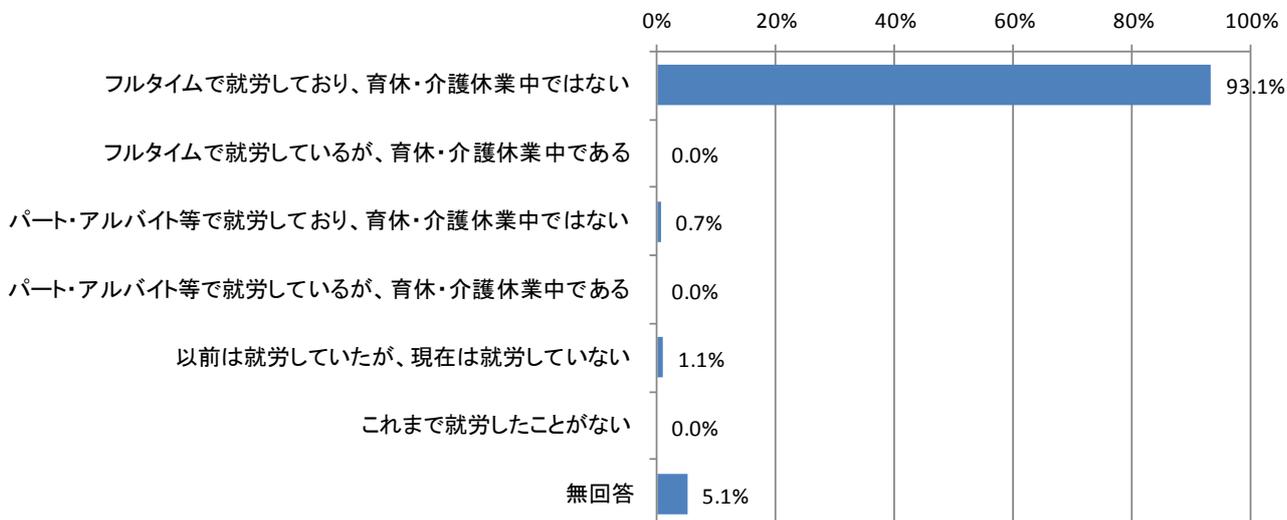


項目	度数	構成比
フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	181	22.6%
フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	66	8.2%
パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	273	34.0%
パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	10	1.2%
以前は就労していたが、現在は就労していない	245	30.5%
これまで就労したことがない	22	2.7%
無回答	5	0.6%
回答者数	802	100.0%
非該当	3	-

(2) 父親【母子家庭の場合は記入は不要です】当てはまる番号1つに○をつけてください。

「父親」の就労状況は、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、育休・介護休業中ではない」の割合が93.1%と最も高くなっています。

産休・育休・介護休業中の割合は、フルタイムとパートタイムを含め0.0%となっています。

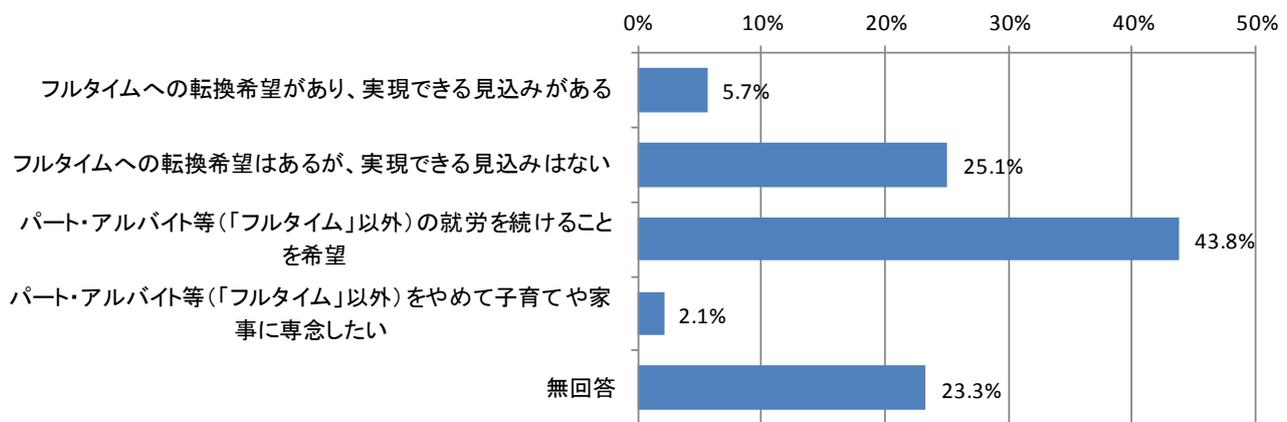


項目	度数	構成比
フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しており、育休・介護休業中ではない	688	93.1%
フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しているが、育休・介護休業中である	0	0.0%
パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労しており、育休・介護休業中ではない	5	0.7%
パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労しているが、育休・介護休業中である	0	0.0%
以前は就労していたが、現在は就労していない	8	1.1%
これまで就労したことがない	0	0.0%
無回答	38	5.1%
回答者数	739	100.0%
非該当	66	-

問 13 問 12 の (1) または (2) で「3.4.」(パート・アルバイト等で就労している) に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問 14 へお進みください。フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

(1) 母親

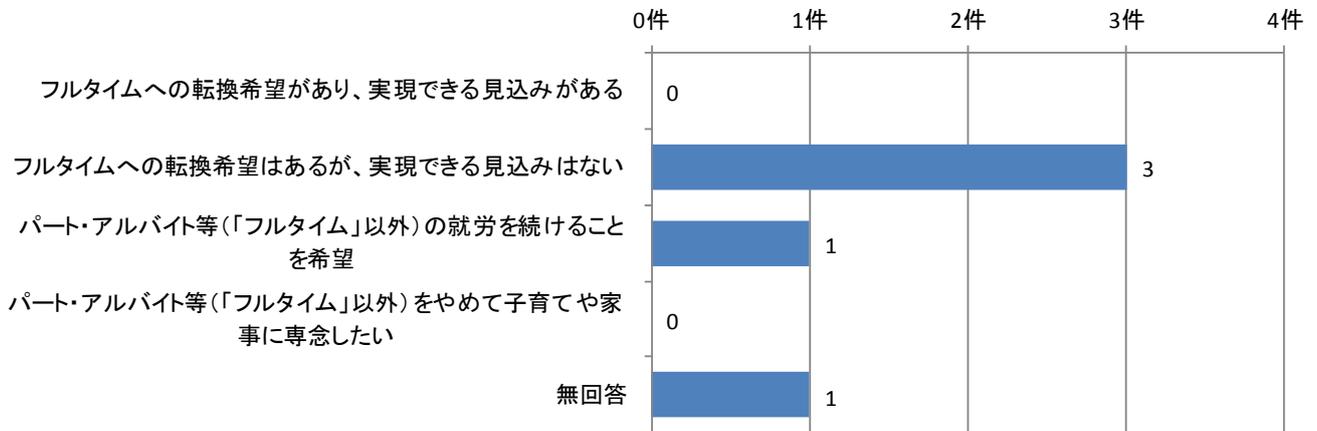
パート・アルバイト等で就労している「母親」のフルタイムへの転換希望は、「パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望」の割合が 43.8%と最も高く、「フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望があり、実現できる見込みがある」の割合は 5.7%、「フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望はあるが、実現できる見込みはない」の割合は 25.1%となっています。



項目	度数	構成比
フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望があり、実現できる見込みがある	16	5.7%
フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望はあるが、実現できる見込みはない	71	25.1%
パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)の就労を続けることを希望	124	43.8%
パート・アルバイト等(「フルタイム」以外)をやめて子育てや家事に専念したい	6	2.1%
無回答	66	23.3%
回答者数	283	100.0%
非該当	522	-

## (2) 父親

パート・アルバイト等で就労している「父親」のフルタイムへの転換希望は、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が3件と多くなっています。



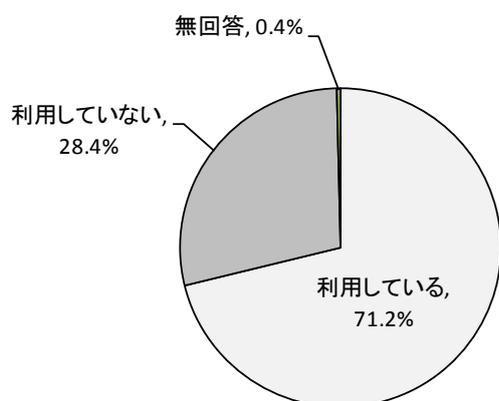
項目	度数	構成比
フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望があり、実現できる見込みがある	0	0.0%
フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望はあるが、実現できる見込みはない	3	60.0%
パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）の就労を続けることを希望	1	20.0%
パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）をやめて子育てや家事に専念したい	0	0.0%
無回答	1	20.0%
回答者数	5	100.0%
非該当	800	-

## 5 宛名のお子さんの平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について

※ここでいう「定期的な教育・保育事業」とは、月単位で定期的に利用している事業を指します。具体的には、幼稚園や保育所など、問 15-1 に示した事業が含まれます。

問 15 宛名のお子さんは現在、幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育の事業」を利用されていますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

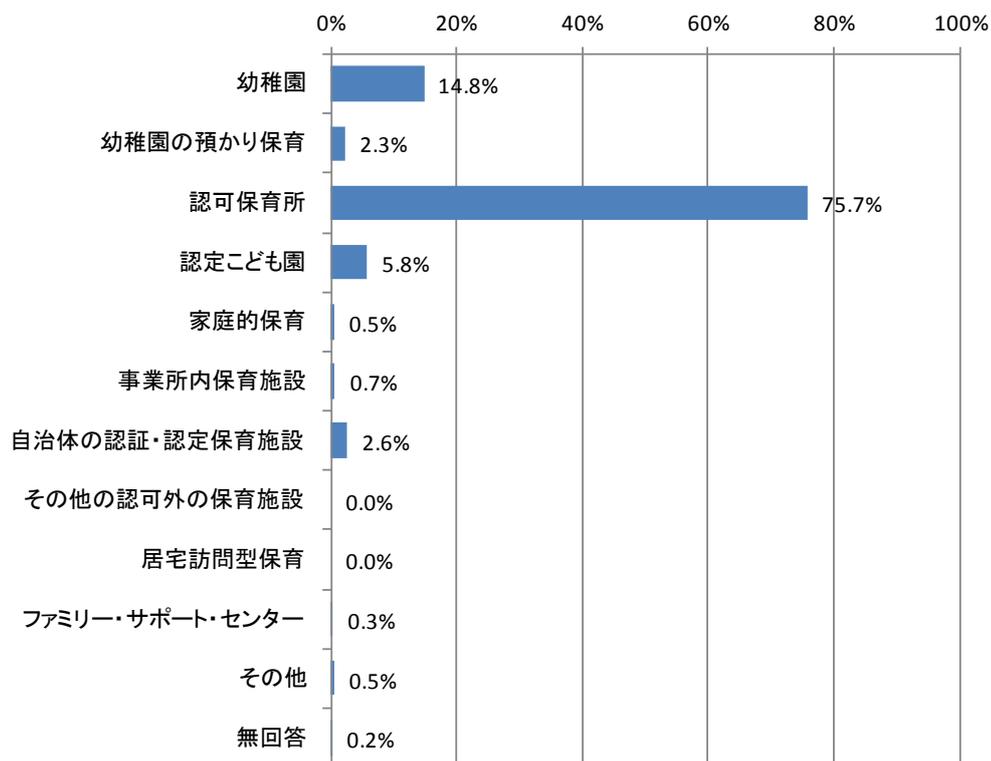
定期的な教育・保育の事業の利用状況は、「利用している」の割合が 71.2%に対し、「利用していない」が 28.4%と、「利用している」割合が上回っています。



項目	度数	構成比
利用している	573	71.2%
利用していない	229	28.4%
無回答	3	0.4%
回答者数	805	100.0%

問 15-1 問 15-1～問 15-4 は、問 15 で「1. 利用している」に○をつけた方にうかがいます。宛名のお子さんは、平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

平日の教育・保育の事業の利用種別は、「認可保育所（国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けたもの）」の割合が 75.7%と最も高く、次いで「幼稚園（通常の就園時間の利用）」が 14.8%、「認定こども園（幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設）」が 5.8%となっています。



項目	度数	構成比
幼稚園(通常の就園時間の利用)	85	14.8%
幼稚園の預かり保育(通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ)	13	2.3%
認可保育所(国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けたもの)	434	75.7%
認定こども園(幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設)	33	5.8%
家庭的保育(保育者の家庭等で子どもを保育する事業)	3	0.5%
事業所内保育施設(企業が主に従業員用に運営する施設)	4	0.7%
自治体の認証・認定保育施設(認可保育所ではないが、自治体が認証・認定した施設)	15	2.6%
その他の認可外の保育施設	0	0.0%
居宅訪問型保育(ベビーシッターのような保育者が子どもの家庭で保育する事業)	0	0.0%
ファミリー・サポート・センター(地域住民が子どもを預かる事業)	2	0.3%
その他	3	0.5%
無回答	1	0.2%
回答者数	573	-
非該当	232	-

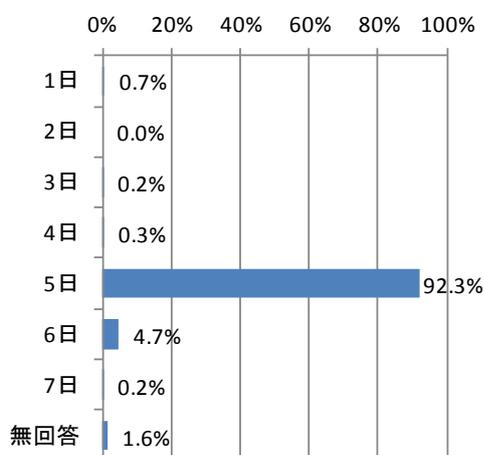
問 15-2 平日に定期的に利用している教育・保育の事業について、どのくらい利用していますか。  
 また、希望としてはどのくらい利用したいですか。1週あたり何日、1日あたり何時間（何時から何時まで）かを、口内に具体的な数字でご記入ください（数字は一桁に一字）。時間は、必ず（例）09時～18時のように24時間制でご記入ください。

**（１）現在**

平日の教育・保育の事業の日数などの利用状況は、1週あたりの日数については、「5日」の割合が92.3%、1日あたりの時間については、「7時間～10時間」の割合が78.5%と、それぞれ最も高くなっています。

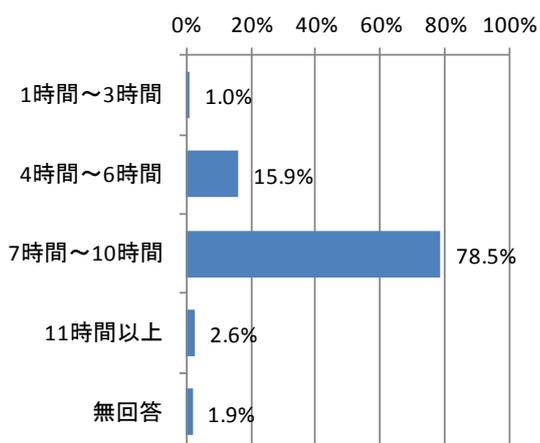
また、利用時間帯は、登園時刻については、「8時（41.9%）」「9時（48.2%）」、帰園時刻については、「16時（40.8%）」「17時（23.4%）」「18時（14.8%）」の割合が比較的高くなっています。

**■ 1週あたり日数**



項目	度数	構成比
1日	4	0.7%
2日	0	0.0%
3日	1	0.2%
4日	2	0.3%
5日	529	92.3%
6日	27	4.7%
7日	1	0.2%
無回答	9	1.6%
回答者数	573	100.0%
非該当	232	-

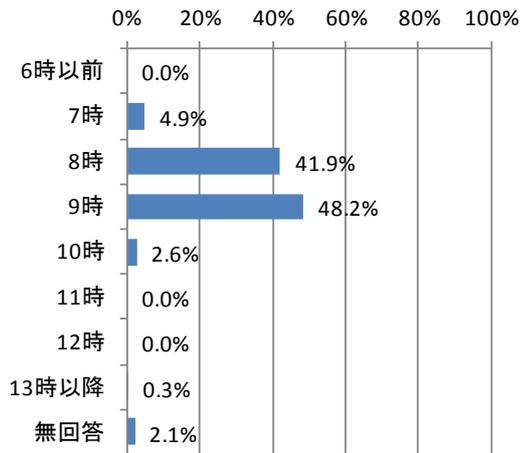
**■ 1日あたり時間**



項目	度数	構成比
1時間～3時間	6	1.0%
4時間～6時間	91	15.9%
7時間～10時間	450	78.5%
11時間以上	15	2.6%
無回答	11	1.9%
回答者数	573	100.0%
非該当	232	-

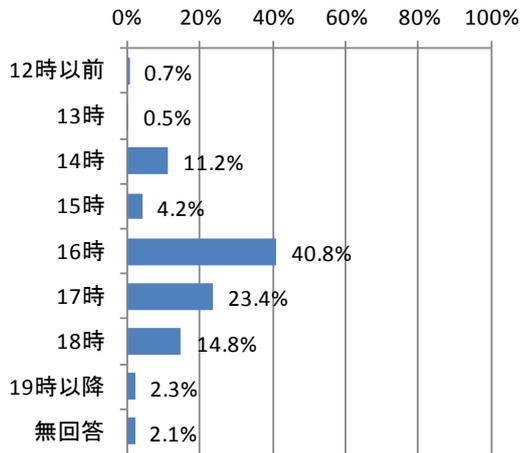
## ■ 利用時間帯

(登園時刻)



項目	度数	構成比
6時以前	0	0.0%
7時	28	4.9%
8時	240	41.9%
9時	276	48.2%
10時	15	2.6%
11時	0	0.0%
12時	0	0.0%
13時以降	2	0.3%
無回答	12	2.1%
回答者数	573	100.0%
非該当	232	-

(帰園時刻)



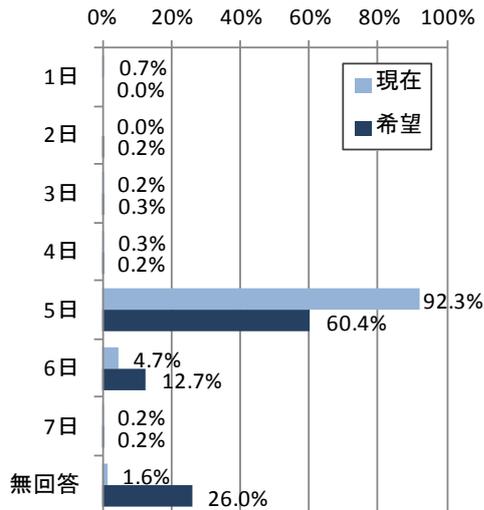
項目	度数	構成比
12時以前	4	0.7%
13時	3	0.5%
14時	64	11.2%
15時	24	4.2%
16時	234	40.8%
17時	134	23.4%
18時	85	14.8%
19時以降	13	2.3%
無回答	12	2.1%
回答者数	573	100.0%
非該当	232	-

## (2) 希望

平日の教育・保育の事業の日数などの利用希望は、1週あたりの日数については、「5日」の割合が60.4%、1日あたりの時間については、「7時間～10時間」の割合が62.0%と、それぞれ最も高くなっています。

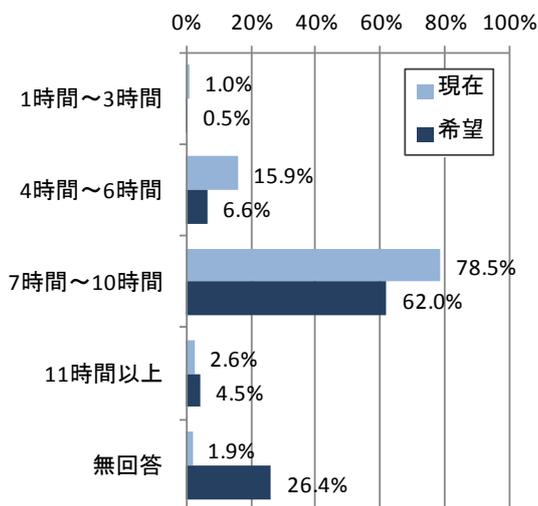
また、利用希望時間帯は、登園時刻については、「8時（33.3%）」「9時（35.3%）」、帰園時刻については、「16時（26.0%）」「17時（20.2%）」「18時（15.4%）」の割合が比較的高くなっています。

### ■ 1週あたり日数



項目	度数	構成比
1日	0	0.0%
2日	1	0.2%
3日	2	0.3%
4日	1	0.2%
5日	346	60.4%
6日	73	12.7%
7日	1	0.2%
無回答	149	26.0%
回答者数	573	100.0%
非該当	232	-

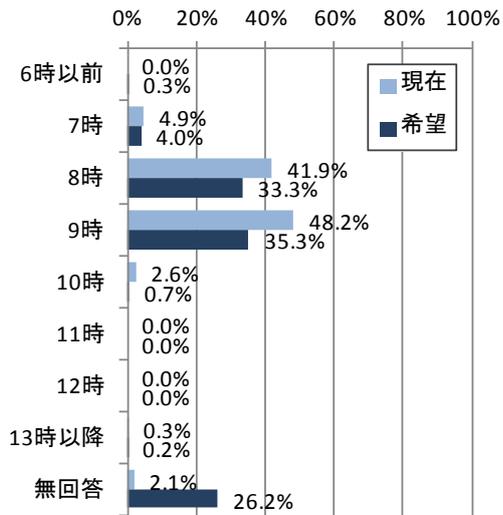
### ■ 1日あたり時間



項目	度数	構成比
1時間～3時間	3	0.5%
4時間～6時間	38	6.6%
7時間～10時間	355	62.0%
11時間以上	26	4.5%
無回答	151	26.4%
回答者数	573	100.0%
非該当	232	-

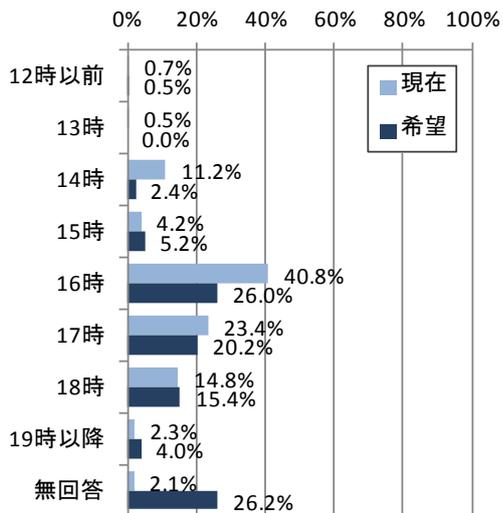
## ■ 利用時間帯

(登園時刻)



項目	度数	構成比
6時以前	2	0.3%
7時	23	4.0%
8時	191	33.3%
9時	202	35.3%
10時	4	0.7%
11時	0	0.0%
12時	0	0.0%
13時以降	1	0.2%
無回答	150	26.2%
回答者数	573	100.0%
非該当	232	-

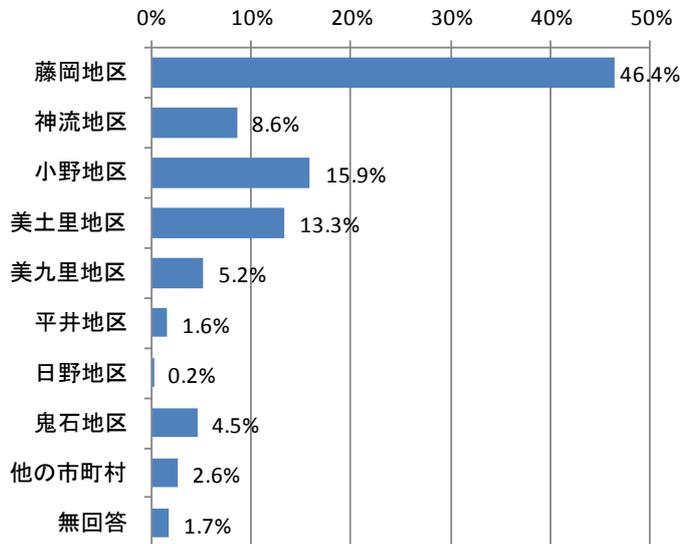
(帰園時刻)



項目	度数	構成比
12時以前	3	0.5%
13時	0	0.0%
14時	14	2.4%
15時	30	5.2%
16時	149	26.0%
17時	116	20.2%
18時	88	15.4%
19時以降	23	4.0%
無回答	150	26.2%
回答者数	573	100.0%
非該当	232	-

**問 15-3 現在、利用している教育・保育事業の実施場所についてうかがいます。当てはまる番号1つに○をつけてください。**

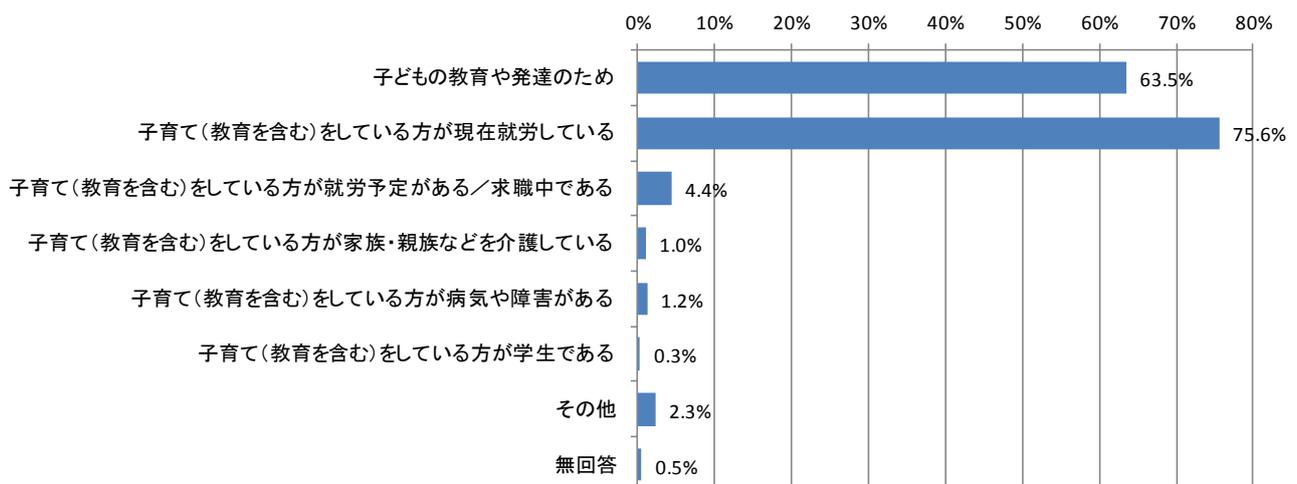
現在、利用している教育・保育事業の実施場所については、「藤岡地区」の割合が 46.4%と最も高く、次いで「小野地区」が 15.9%、「美土里地区」13.3%となっています。



項目	度数	構成比
藤岡地区	266	46.4%
神流地区	49	8.6%
小野地区	91	15.9%
美土里地区	76	13.3%
美九里地区	30	5.2%
平井地区	9	1.6%
日野地区	1	0.2%
鬼石地区	26	4.5%
他の市町村	15	2.6%
無回答	10	1.7%
回答者数	573	100.0%
非該当	232	-

**問 15-4 平日に定期的に教育・保育の事業を利用されている理由についてうかがいます。主な理由として当てはまる番号すべてに○をつけてください。**

平日に定期的に教育・保育の事業を利用している理由は、「子どもの教育や発達のため (63.5%)」「子育て(教育を含む)をしている方が現在就労している (75.6%)」の割合がいずれも 6 割を超え高くなっています。

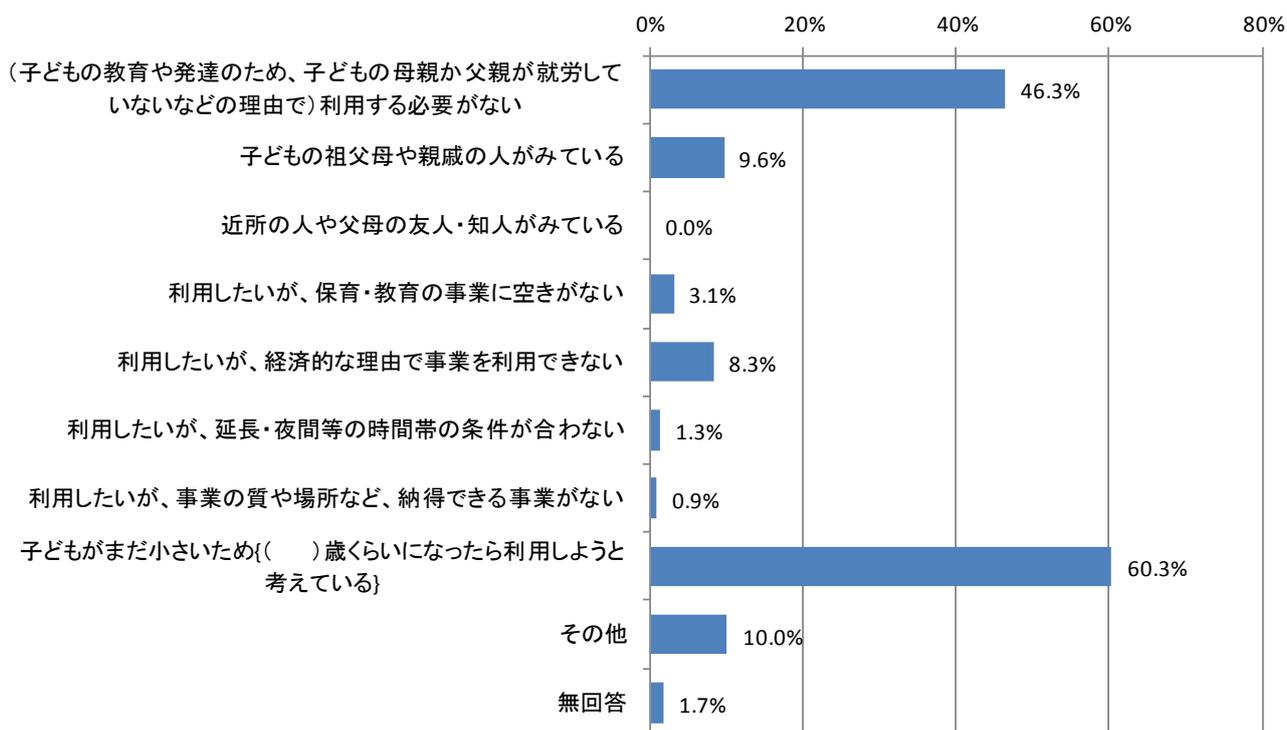


項目	度数	構成比
子どもの教育や発達のため	364	63.5%
子育て(教育を含む)をしている方が現在就労している	433	75.6%
子育て(教育を含む)をしている方が就労予定がある／求職中である	25	4.4%
子育て(教育を含む)をしている方が家族・親族などを介護している	6	1.0%
子育て(教育を含む)をしている方が病気や障害がある	7	1.2%
子育て(教育を含む)をしている方が学生である	2	0.3%
その他	13	2.3%
無回答	3	0.5%
回答者数	573	-
非該当	232	-

**問 15-5 問 15 で「2. 利用していない」に○をつけた方にうかがいます。利用していない理由は何ですか。理由としてもっとも当てはまる番号すべてに○をつけてください。**

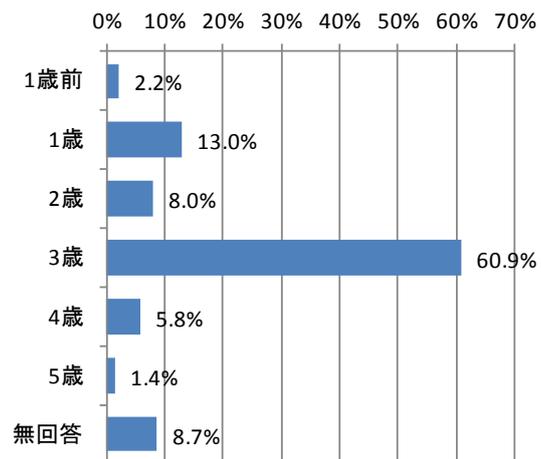
定期的な教育・保育事業を利用していない理由は、「子どもがまだ小さいため{( )歳くらいになったら利用しようと考えている}」の割合が 60.3%と最も高くなっています。また、「(子どもの教育や発達のため、子どもの母親か父親が就労していないなどの理由で) 利用する必要がない」の割合も 46.3%と比較的高くなっています。

また、教育・保育事業の利用開始年齢は、「3歳」の割合が 60.9%と最も高くなっています。



項目	度数	構成比
(子どもの教育や発達のため、子どもの母親か父親が就労していないなどの理由で) 利用する必要がない	106	46.3%
子どもの祖父母や親戚の人がみている	22	9.6%
近所の人や父母の友人・知人がみている	0	0.0%
利用したいが、保育・教育の事業に空きがない	7	3.1%
利用したいが、経済的な理由で事業を利用できない	19	8.3%
利用したいが、延長・夜間等の時間帯の条件が合わない	3	1.3%
利用したいが、事業の質や場所など、納得できる事業がない	2	0.9%
子どもがまだ小さいため{( )歳くらいになったら利用しようと考えている}	138	60.3%
その他	23	10.0%
無回答	4	1.7%
回答者数	229	-
非該当	576	-

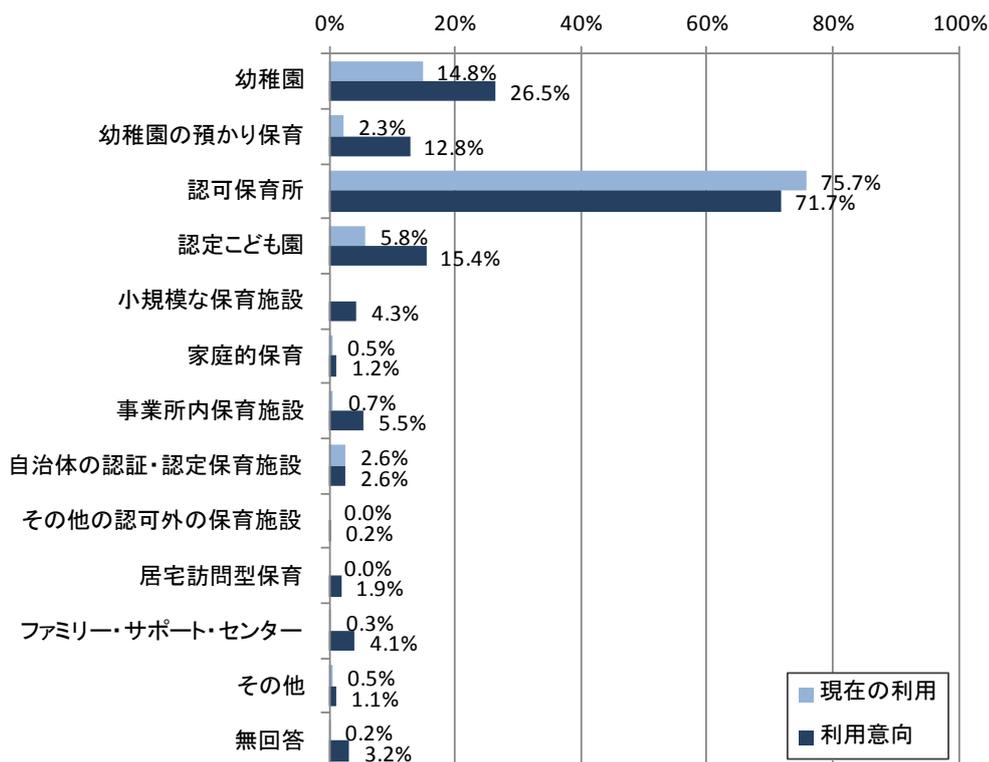
■教育・保育事業の利用開始年齢



項目	度数	構成比
1歳前	3	2.2%
1歳	18	13.0%
2歳	11	8.0%
3歳	84	60.9%
4歳	8	5.8%
5歳	2	1.4%
無回答	12	8.7%
回答者数	138	100.0%
非該当	667	-

問 16 すべての方にうかがいます。現在、利用している、利用していないにかかわらず、宛名のお子さんの平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。認可保育所の場合、世帯収入に応じた利用料が設定されています。

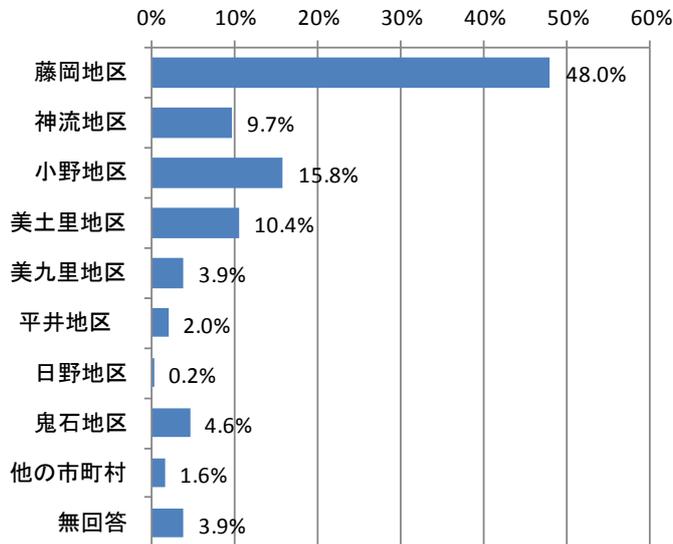
平日の教育・保育の事業の利用意向は、「認可保育所（国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けた定員 20 人以上のもの）」の割合が 71.7%と最も高く、次いで「幼稚園（通常の就園時間の利用）」が 26.5%、「認定こども園（幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設）」が 15.4%となっています。



項目	度数	構成比
幼稚園(通常の就園時間の利用)	213	26.5%
幼稚園の預かり保育(通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ)	103	12.8%
認可保育所(国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けた定員20人以上のもの)	577	71.7%
認定こども園(幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設)	124	15.4%
小規模な保育施設(国が定める最低基準に適合した施設で市町村の認可を受けた定員概ね6~19人のもの)	35	4.3%
家庭的保育(保育者の家庭等で5人以下の子どもを保育する事業)	10	1.2%
事業所内保育施設(企業が主に従業員用に運営する施設)	44	5.5%
自治体の認証・認定保育施設(認可保育所ではないが、自治体が認証・認定した施設)	21	2.6%
その他の認可外の保育施設	2	0.2%
居宅訪問型保育(ベビーシッターのような保育者が子どもの家庭で保育する事業)	15	1.9%
ファミリー・サポート・センター(地域住民が子どもを預かる事業)	33	4.1%
その他	9	1.1%
無回答	26	3.2%
回答者数	805	-

問 16-1 教育・保育事業を利用したい場所についてうかがいます。当てはまる番号1つに○をつけてください。

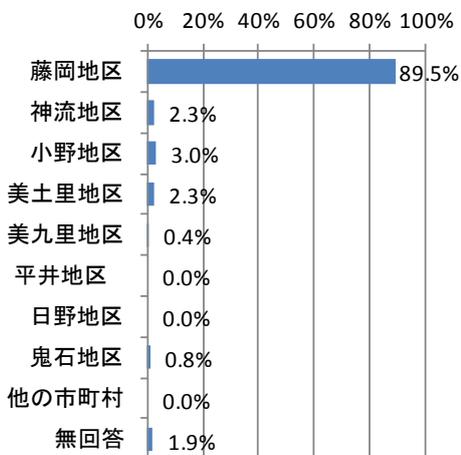
利用したい教育・保育事業の場所については、「藤岡地区」の割合が 48.0%と最も高く、次いで「小野地区」が 15.8%、「美土里地区」10.4%となっています。



項目	度数	構成比
藤岡地区	386	48.0%
神流地区	78	9.7%
小野地区	127	15.8%
美土里地区	84	10.4%
美九里地区	31	3.9%
平井地区	16	2.0%
日野地区	2	0.2%
鬼石地区	37	4.6%
他の市町村	13	1.6%
無回答	31	3.9%
回答者数	805	100.0%

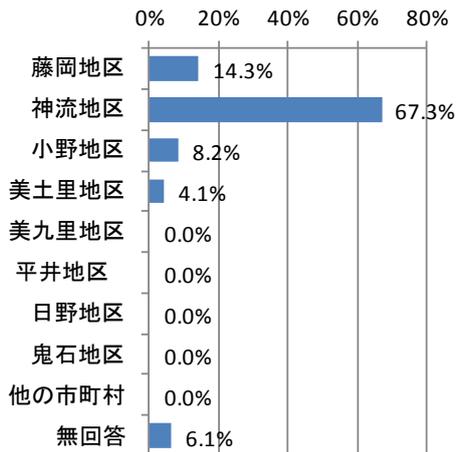
■現在利用している地区と、利用したい場所の比較

(現在利用地区：藤岡地区)



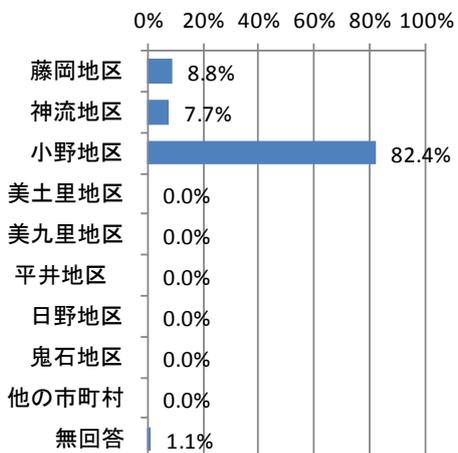
項目	度数	構成比
藤岡地区	238	89.5%
神流地区	6	2.3%
小野地区	8	3.0%
美土里地区	6	2.3%
美九里地区	1	0.4%
平井地区	0	0.0%
日野地区	0	0.0%
鬼石地区	2	0.8%
他の市町村	0	0.0%
無回答	5	1.9%
回答者数	266	100.0%

(現在利用地区：神流地区)



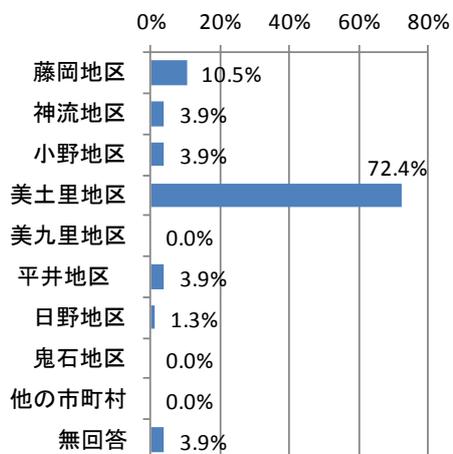
項目	度数	構成比
藤岡地区	7	14.3%
神流地区	33	67.3%
小野地区	4	8.2%
美土里地区	2	4.1%
美九里地区	0	0.0%
平井地区	0	0.0%
日野地区	0	0.0%
鬼石地区	0	0.0%
他の市町村	0	0.0%
無回答	3	6.1%
回答者数	49	100.0%

(現在利用地区：小野地区)



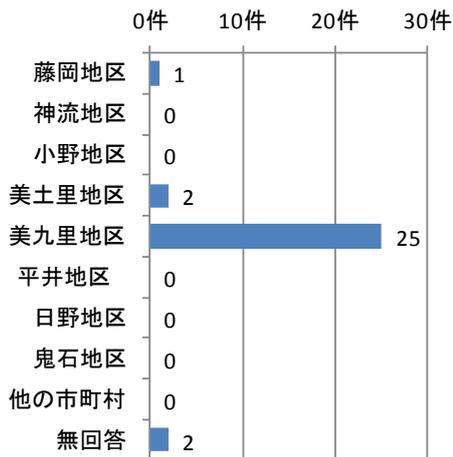
項目	度数	構成比
藤岡地区	8	8.8%
神流地区	7	7.7%
小野地区	75	82.4%
美土里地区	0	0.0%
美九里地区	0	0.0%
平井地区	0	0.0%
日野地区	0	0.0%
鬼石地区	0	0.0%
他の市町村	0	0.0%
無回答	1	1.1%
回答者数	91	100.0%

(現在利用地区：美土里地区)



項目	度数	構成比
藤岡地区	8	10.5%
神流地区	3	3.9%
小野地区	3	3.9%
美土里地区	55	72.4%
美九里地区	0	0.0%
平井地区	3	3.9%
日野地区	1	1.3%
鬼石地区	0	0.0%
他の市町村	0	0.0%
無回答	3	3.9%
回答者数	76	100.0%

(現在利用地区：美九里地区)



項目	度数	構成比
藤岡地区	1	3.3%
神流地区	0	0.0%
小野地区	0	0.0%
美土里地区	2	6.7%
美九里地区	25	83.3%
平井地区	0	0.0%
日野地区	0	0.0%
鬼石地区	0	0.0%
他の市町村	0	0.0%
無回答	2	6.7%
回答者数	30	100.0%

(現在利用地区：平井地区)



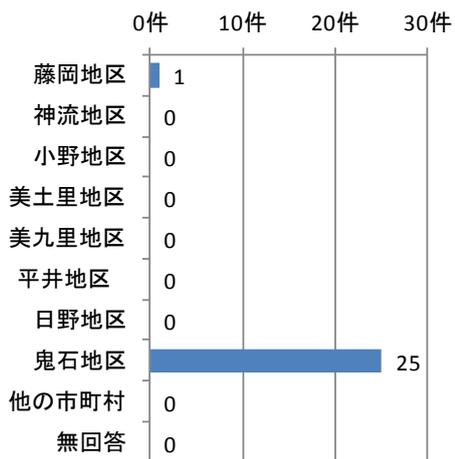
項目	度数	構成比
藤岡地区	0	0.0%
神流地区	0	0.0%
小野地区	0	0.0%
美土里地区	0	0.0%
美九里地区	0	0.0%
平井地区	9	100.0%
日野地区	0	0.0%
鬼石地区	0	0.0%
他の市町村	0	0.0%
無回答	0	0.0%
回答者数	9	100.0%

(現在利用地区：日野地区)



項目	度数	構成比
藤岡地区	0	0.0%
神流地区	0	0.0%
小野地区	0	0.0%
美土里地区	0	0.0%
美九里地区	0	0.0%
平井地区	0	0.0%
日野地区	1	100.0%
鬼石地区	0	0.0%
他の市町村	0	0.0%
無回答	0	0.0%
回答者数	1	100.0%

(現在利用地区：鬼石地区)



項目	度数	構成比
藤岡地区	1	3.8%
神流地区	0	0.0%
小野地区	0	0.0%
美土里地区	0	0.0%
美九里地区	0	0.0%
平井地区	0	0.0%
日野地区	0	0.0%
鬼石地区	25	96.2%
他の市町村	0	0.0%
無回答	0	0.0%
回答者数	26	100.0%

(現在利用地区：他の市町村)



項目	度数	構成比
藤岡地区	4	26.7%
神流地区	0	0.0%
小野地区	3	20.0%
美土里地区	1	6.7%
美九里地区	0	0.0%
平井地区	0	0.0%
日野地区	0	0.0%
鬼石地区	0	0.0%
他の市町村	5	33.3%
無回答	2	13.3%
回答者数	15	100.0%

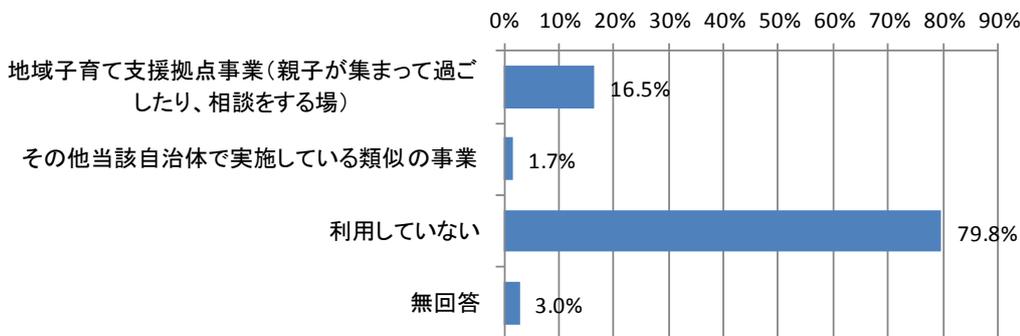
## 6 宛名のお子さんの地域の子育て支援事業の利用状況について

問 17 宛名のお子さんは、現在、地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場で、「つどいの広場」「子育て支援センター」等と呼ばれています）を利用していますか。次の中から、利用されているものすべてに○をつけてください。また、おおよその利用回数（頻度）を口内に数字でご記入ください（数字は一桁に一字）。

地域子育て支援拠点事業の利用状況は、「地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過ごしたり、相談をする場）」を利用している割合が 16.5%に対し、「利用していない」が 79.8%となっています。

地域子育て支援拠点事業の利用回数は、1週あたりでは「1回～3回」の割合が比較的高く、1ヶ月あたりにおいても同様の傾向となっています。

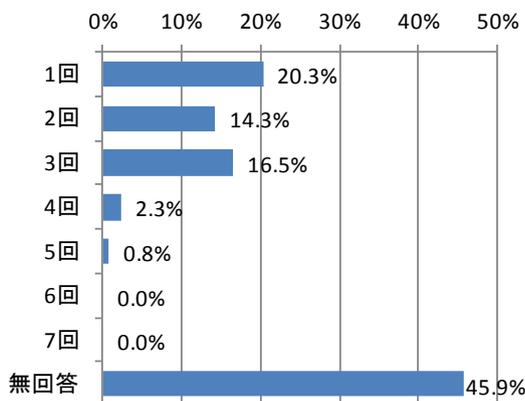
また、その他当該自治体で実施している類似の事業の利用は少なくなっています。



項目	度数	構成比
地域子育て支援拠点事業(親子が集まって過ごしたり、相談をする場)	133	16.5%
その他当該自治体で実施している類似の事業	14	1.7%
利用していない	642	79.8%
無回答	24	3.0%
回答者数	805	-

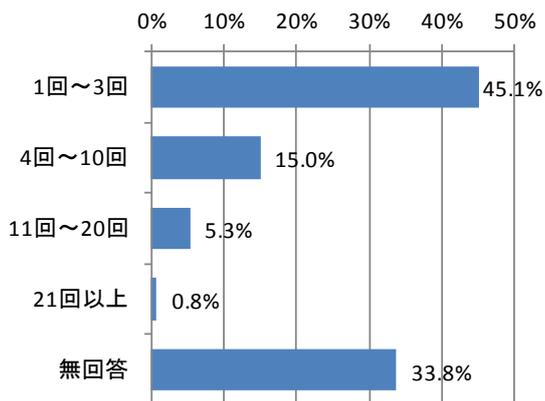
### ■地域子育て支援拠点事業の利用（1週あたり回数または1ヶ月あたり回数）

（1週あたり回数）



1週あたりの回数	度数	構成比
1回	27	20.3%
2回	19	14.3%
3回	22	16.5%
4回	3	2.3%
5回	1	0.8%
6回	0	0.0%
7回	0	0.0%
無回答	61	45.9%
回答者数	133	100.0%
非該当	672	-

(1ヶ月あたり回数)



1ヶ月あたりの回数	度数	構成比
1回～3回	60	45.1%
4回～10回	20	15.0%
11回～20回	7	5.3%
21回以上	1	0.8%
無回答	45	33.8%
回答者数	133	100.0%
非該当	672	-

■その他当該自治体で実施している類似の事業の利用 (1週あたり回数または1ヶ月あたり回数)

(1週あたり回数)

1週あたりの回数	度数	構成比
1回	1	7.1%
2回	1	7.1%
3回	0	0.0%
4回	0	0.0%
5回	0	0.0%
6回	0	0.0%
7回	0	0.0%
無回答	12	85.7%
回答者数	14	100.0%
非該当	791	-

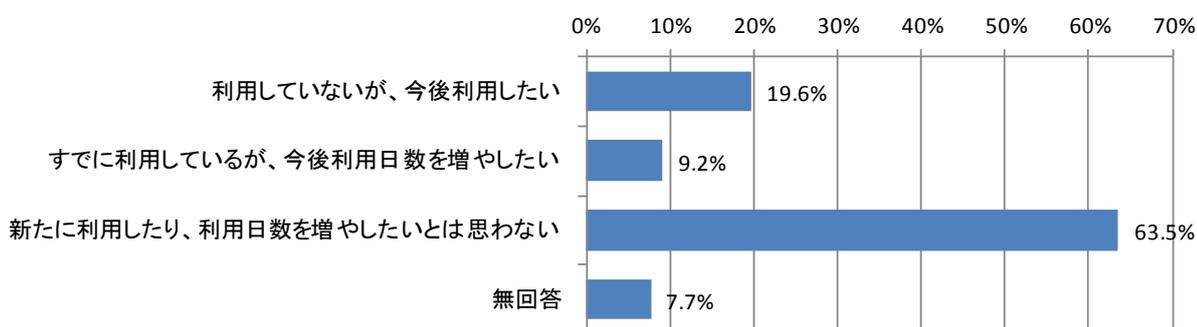
(1ヶ月あたり回数)

1ヶ月あたりの回数	度数	構成比
1回～3回	12	85.7%
4回～10回	1	7.1%
11回～20回	0	0.0%
21回以上	0	0.0%
無回答	1	7.1%
回答者数	14	100.0%
非該当	791	-

問 18 問 17 のような地域子育て支援拠点事業について、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いませんか。当てはまる番号 1 つに○をつけて、おおよその利用回数（頻度）を口内に数字でご記入ください（数字は一桁に一字）。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生する場合があります。

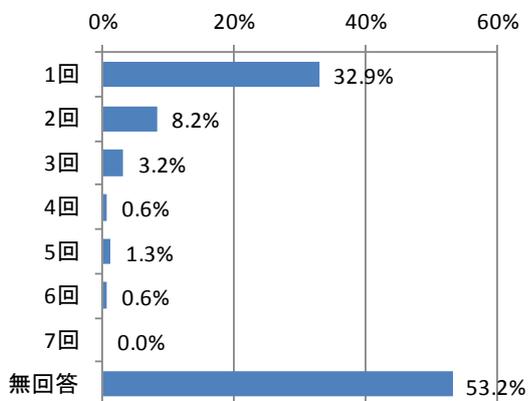
地域子育て支援拠点事業の新規の利用及び利用拡大の意向は、「利用していないが、今後利用したい（19.6%）」と「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい（9.2%）」の合計割合が 28.8%に対し、「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」が 63.5%となっています。

地域子育て支援拠点事業の利用回数は、新規の利用及び利用拡大ともに、1 週あたりでは「1 回～3 回」の割合、1 ヶ月あたりでは「1 回～10 回」の割合が比較的高くなっています。



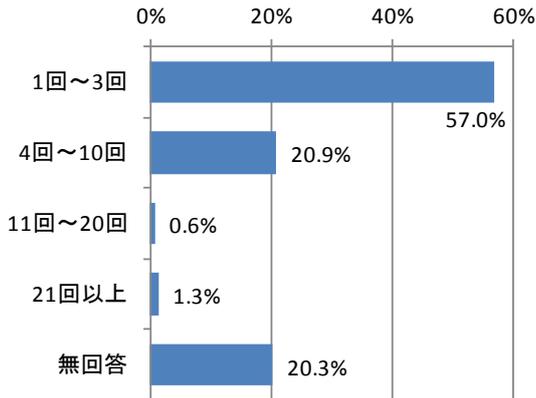
項目	度数	構成比
利用していないが、今後利用したい	158	19.6%
すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい	74	9.2%
新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない	511	63.5%
無回答	62	7.7%
回答者数	805	100.0%

■利用していないが今後利用したい（1 週あたり回数または 1 ヶ月あたり回数）  
（1 週あたり回数）



1 週あたりの回数	度数	構成比
1 回	52	32.9%
2 回	13	8.2%
3 回	5	3.2%
4 回	1	0.6%
5 回	2	1.3%
6 回	1	0.6%
7 回	0	0.0%
無回答	84	53.2%
回答者数	158	100.0%

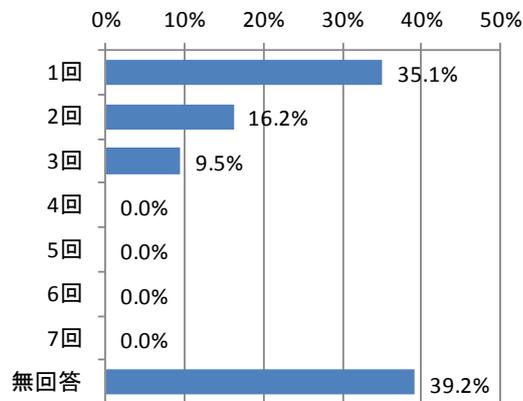
(1ヶ月あたり回数)



1ヶ月あたりの回数	度数	構成比
1回~3回	90	57.0%
4回~10回	33	20.9%
11回~20回	1	0.6%
21回以上	2	1.3%
無回答	32	20.3%
回答者数	158	100.0%

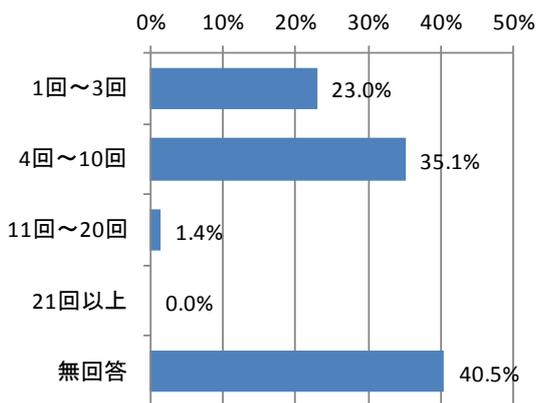
■利用回数を更に増やしたい (1週あたり回数または1ヶ月あたり回数)

(1週あたり回数)



1週あたりの回数	度数	構成比
1回	26	35.1%
2回	12	16.2%
3回	7	9.5%
4回	0	0.0%
5回	0	0.0%
6回	0	0.0%
7回	0	0.0%
無回答	29	39.2%
回答者数	74	100.0%

(1ヶ月あたり回数)

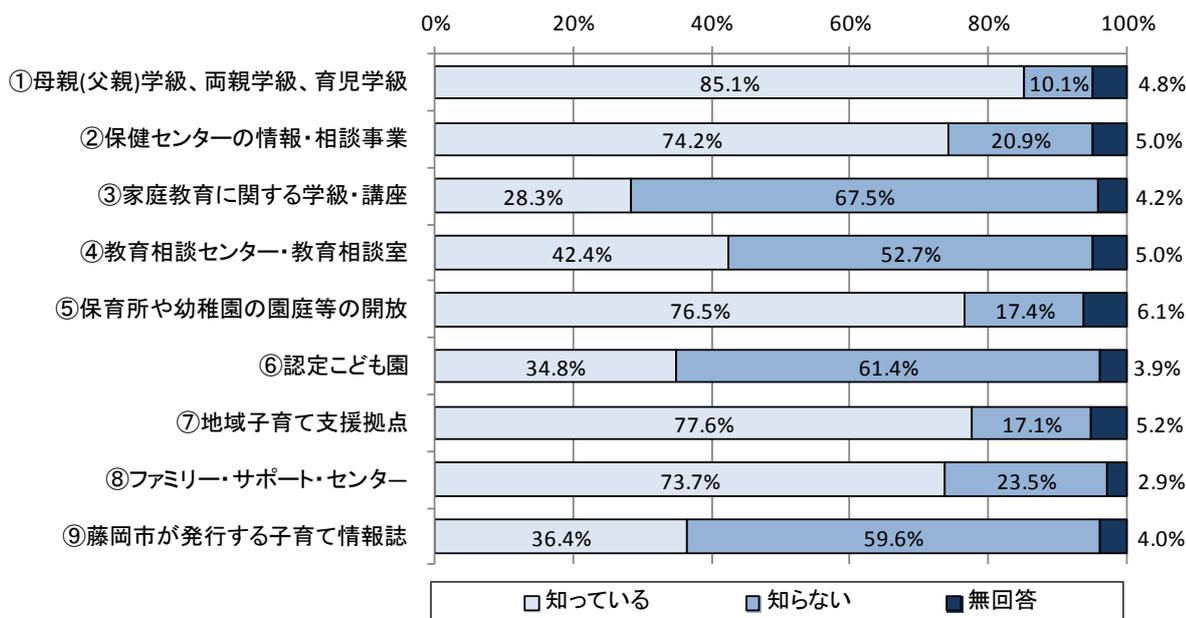


1ヶ月あたりの回数	度数	構成比
1回~3回	17	23.0%
4回~10回	26	35.1%
11回~20回	1	1.4%
20回以上	0	0.0%
無回答	30	40.5%
回答者数	74	100.0%

問 19 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。①～⑦の事業ごとに、A～Cのそれぞれについて、「はい」「いいえ」のいずれかに○をつけてください。

認知度は、「母親(父親)学級、両親学級、育児学級 (85.1%)」「保健センターの情報・相談事業 (74.2%)」「保育所や幼稚園の園庭等の開放 (76.5%)」「地域子育て支援拠点 (77.6%)」「ファミリー・サポート・センター (73.7%)」の割合がいずれも7割を超え高くなっています。

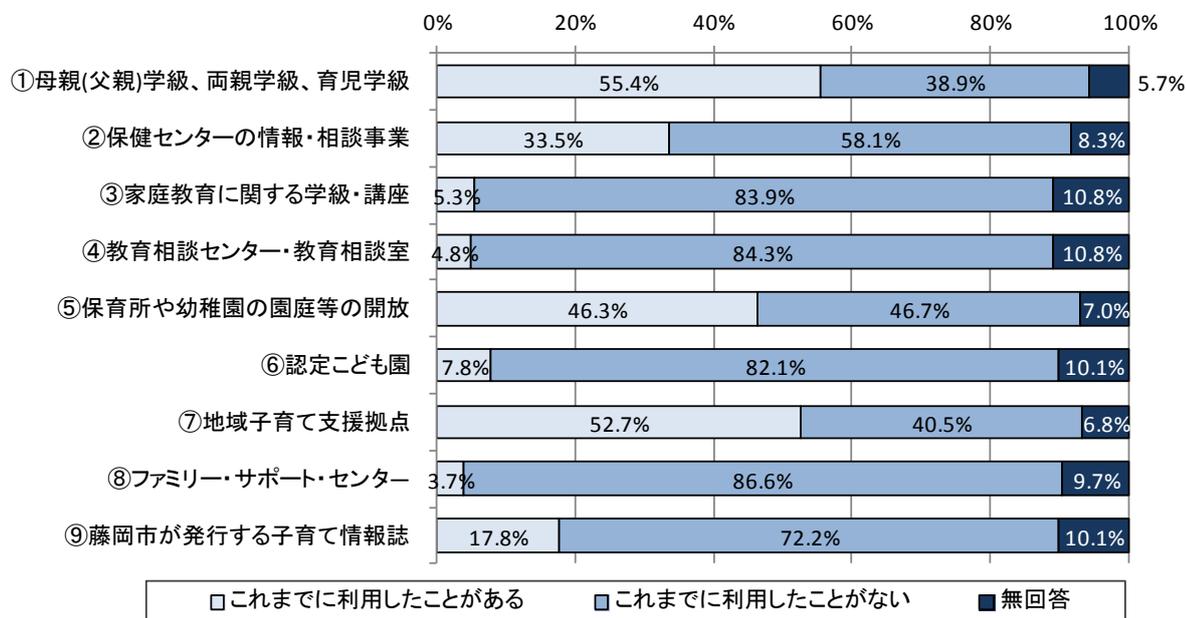
■認知度



項目	知っている	知らない	無回答	回答者数
①母親(父親)学級、両親学級、育児学級	685	81	39	805
	85.1%	10.1%	4.8%	100.0%
②保健センターの情報・相談事業	597	168	40	805
	74.2%	20.9%	5.0%	100.0%
③家庭教育に関する学級・講座	228	543	34	805
	28.3%	67.5%	4.2%	100.0%
④教育相談センター・教育相談室	341	424	40	805
	42.4%	52.7%	5.0%	100.0%
⑤保育所や幼稚園の園庭等の開放	616	140	49	805
	76.5%	17.4%	6.1%	100.0%
⑥認定こども園	280	494	31	805
	34.8%	61.4%	3.9%	100.0%
⑦地域子育て支援拠点	625	138	42	805
	77.6%	17.1%	5.2%	100.0%
⑧ファミリー・サポート・センター	593	189	23	805
	73.7%	23.5%	2.9%	100.0%
⑨藤岡市が発行する子育て情報誌	293	480	32	805
	36.4%	59.6%	4.0%	100.0%

利用度は、「母親(父親)学級、両親学級、育児学級 (55.4%)」「保育所や幼稚園の園庭等の開放 (46.3%)」「地域子育て支援拠点 (52.7%)」の割合がいずれも 5 割前後と比較的高くなっています。

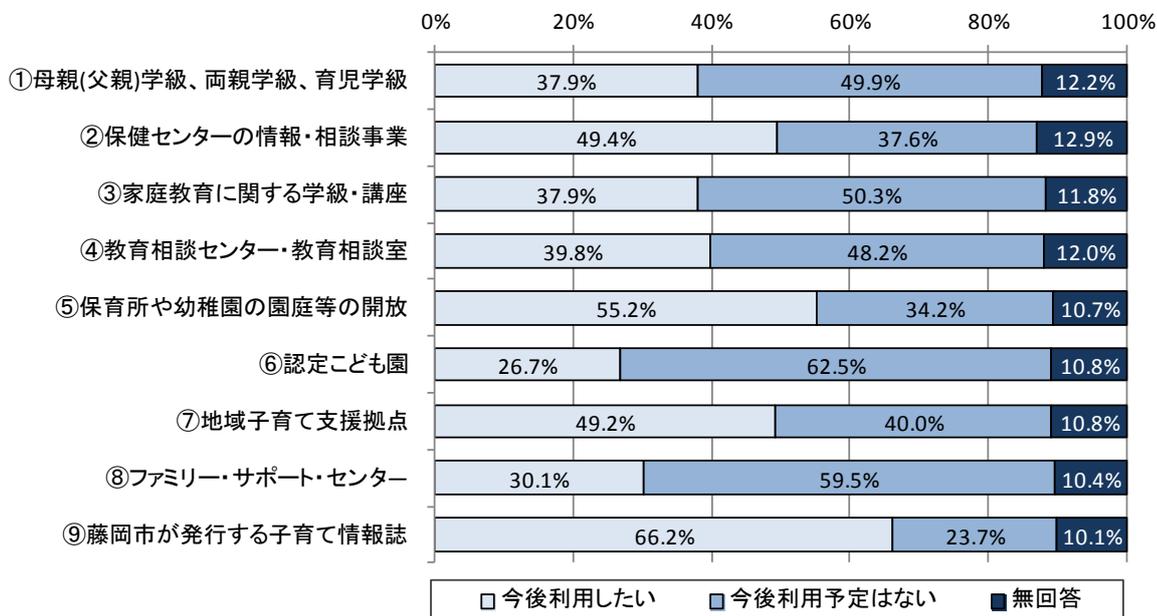
## ■ 利用度



項目	これまでにご利用したことがある	これまでにご利用したことがない	無回答	回答者数
①母親(父親)学級、両親学級、育児学級	446	313	46	805
	55.4%	38.9%	5.7%	100.0%
②保健センターの情報・相談事業	270	468	67	805
	33.5%	58.1%	8.3%	100.0%
③家庭教育に関する学級・講座	43	675	87	805
	5.3%	83.9%	10.8%	100.0%
④教育相談センター・教育相談室	39	679	87	805
	4.8%	84.3%	10.8%	100.0%
⑤保育所や幼稚園の園庭等の開放	373	376	56	805
	46.3%	46.7%	7.0%	100.0%
⑥認定こども園	63	661	81	805
	7.8%	82.1%	10.1%	100.0%
⑦地域子育て支援拠点	424	326	55	805
	52.7%	40.5%	6.8%	100.0%
⑧ファミリー・サポート・センター	30	697	78	805
	3.7%	86.6%	9.7%	100.0%
⑨藤岡市が発行する子育て情報誌	143	581	81	805
	17.8%	72.2%	10.1%	100.0%

利用意向は、「保健センターの情報・相談事業（49.4%）」「保育所や幼稚園の園庭等の開放（55.2%）」「地域子育て支援拠点（49.2%）」の割合がいずれも5割前後と比較的高くなっています。また、「藤岡市が発行する子育て情報誌」は利用意向の割合が66.2%と最も高くなっています。

## ■利用意向



項目	今後利用したい	今後利用予定はない	無回答	回答者数
①母親(父親)学級、両親学級、育児学級	305	402	98	805
	37.9%	49.9%	12.2%	100.0%
②保健センターの情報・相談事業	398	303	104	805
	49.4%	37.6%	12.9%	100.0%
③家庭教育に関する学級・講座	305	405	95	805
	37.9%	50.3%	11.8%	100.0%
④教育相談センター・教育相談室	320	388	97	805
	39.8%	48.2%	12.0%	100.0%
⑤保育所や幼稚園の園庭等の開放	444	275	86	805
	55.2%	34.2%	10.7%	100.0%
⑥認定こども園	215	503	87	805
	26.7%	62.5%	10.8%	100.0%
⑦地域子育て支援拠点	396	322	87	805
	49.2%	40.0%	10.8%	100.0%
⑧ファミリー・サポート・センター	242	479	84	805
	30.1%	59.5%	10.4%	100.0%
⑨藤岡市が発行する子育て情報誌	533	191	81	805
	66.2%	23.7%	10.1%	100.0%

## 7 宛名のお子さんの土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望について

問 20 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育の事業の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。希望がある場合は、利用したい時間帯を、（例）09時～18時のように24時間制でご記入ください（数字は一桁に一字）。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

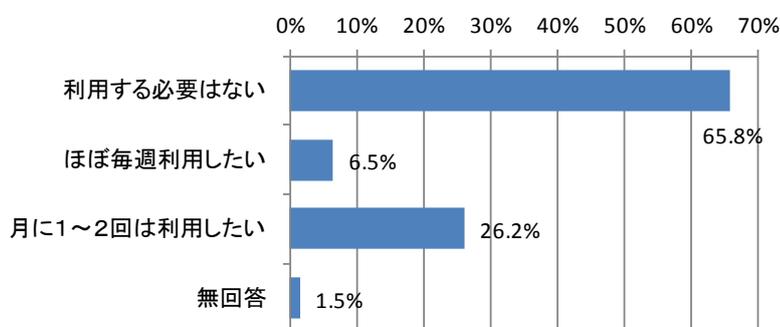
※保育・教育事業とは、幼稚園、保育所、認可外保育施設などの事業を指しますが、親族・知人による預かりは含みません。

### （1）土曜日

土曜日の定期的な教育・保育の事業の利用希望は、「利用する必要はない」の割合が65.8%に対し、「ほぼ毎週利用したい（6.5%）」と「月に1～2回は利用したい（26.2%）」の合計割合は32.7%となっています。

また、利用したい時間帯は、登園時刻については、「8時（47.5%）」「9時（38.4%）」、帰園時刻については、「16時（30.0%）」「17時（19.8%）」「18時（23.6%）」の割合が比較的高くなっています。

さらに、1日あたりの利用希望時間は、「7時間～10時間」の割合が70.7%と最も高くなっています。



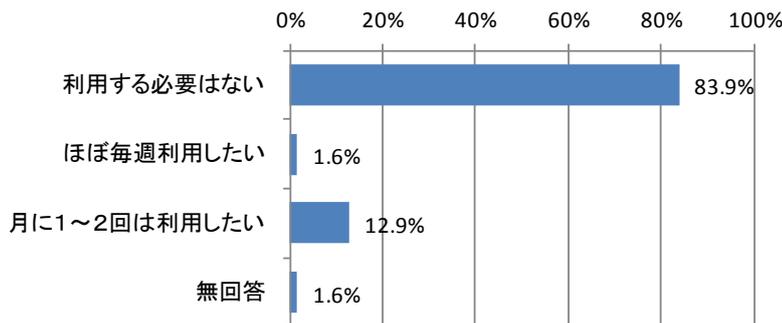
項目	度数	構成比
利用する必要はない	530	65.8%
ほぼ毎週利用したい	52	6.5%
月に1～2回は利用したい	211	26.2%
無回答	12	1.5%
回答者数	805	100.0%

## (2) 日曜・祝日

日曜・祝日の定期的な教育・保育の事業の利用希望は、「利用する必要はない」の割合が 83.9% に対し、「ほぼ毎週利用したい」と「月に1～2回は利用したい」の合計割合は 14.5%となっています。

また、利用したい時間帯は、登園時刻については、「8時(43.6%)」「9時(36.8%)」、帰園時刻については、「16時～18時(いずれも2割台)」の割合が比較的高くなっています。

さらに、1日あたりの利用希望時間は、「7時間～10時間」の割合が 67.5%と最も高くなっています。



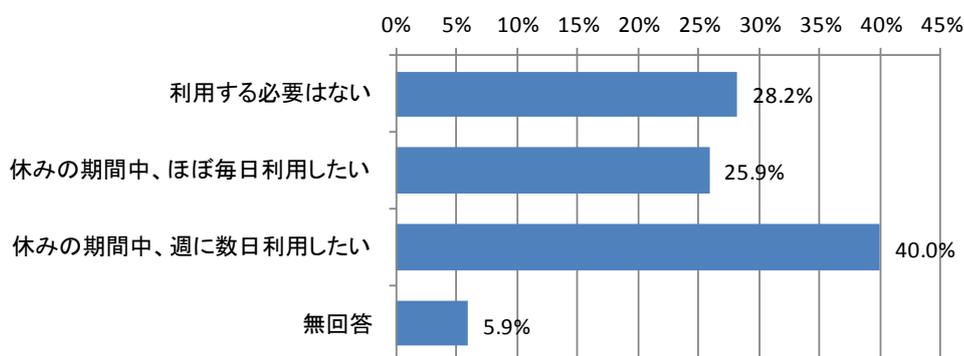
項目	度数	構成比
利用する必要はない	675	83.9%
ほぼ毎週利用したい	13	1.6%
月に1～2回は利用したい	104	12.9%
無回答	13	1.6%
回答者数	805	100.0%

問 21 「幼稚園」を利用されている方にうかがいます。宛名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育の事業の利用を希望しますか。希望がある場合は、利用したい時間帯を、(例)09時～18時(例)のように24時間制でご記入ください(数字は一桁に一字)。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

幼稚園利用者の夏休み・冬休みなどの長期の休暇中の定期的な教育・保育の事業の利用希望は、「利用する必要はない」の割合が28.2%に対し、「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい(25.9%)」と「休みの期間中、週に数日利用したい(40.0%)」の合計割合は65.9%となっています。

また、利用したい時間帯は、登園時刻については、「8時(26.8%)」「9時(67.9%)」、帰園時刻については、「14時～16時(いずれも2割台)」の割合が比較的高くなっています。

さらに、1日あたりの利用希望時間は、「4時間～6時間」の割合が55.4%と最も高くなっています。

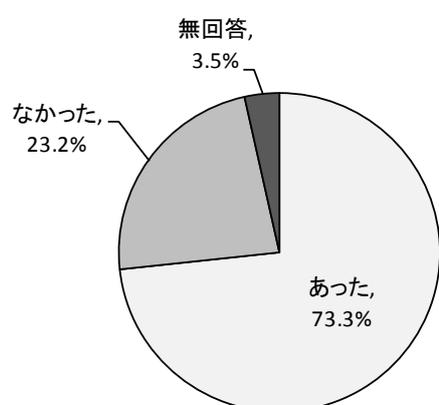


項目	度数	構成比
利用する必要はない	24	28.2%
休みの期間中、ほぼ毎日利用したい	22	25.9%
休みの期間中、週に数日利用したい	34	40.0%
無回答	5	5.9%
回答者数	85	100.0%
非該当	720	-

## 8 宛名のお子さんの病気の際の対応について (平日の教育・保育を利用する方のみ)

問 22 平日の定期的な教育・保育の事業を利用していると答えた保護者の方（問 15 で 1 に○をつけた方）にうかがいます。利用していらっしゃらない方は、問 23 にお進みください。この1年間に、宛名のお子さんが病気やケガで通常の事業が利用できなかったことはありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

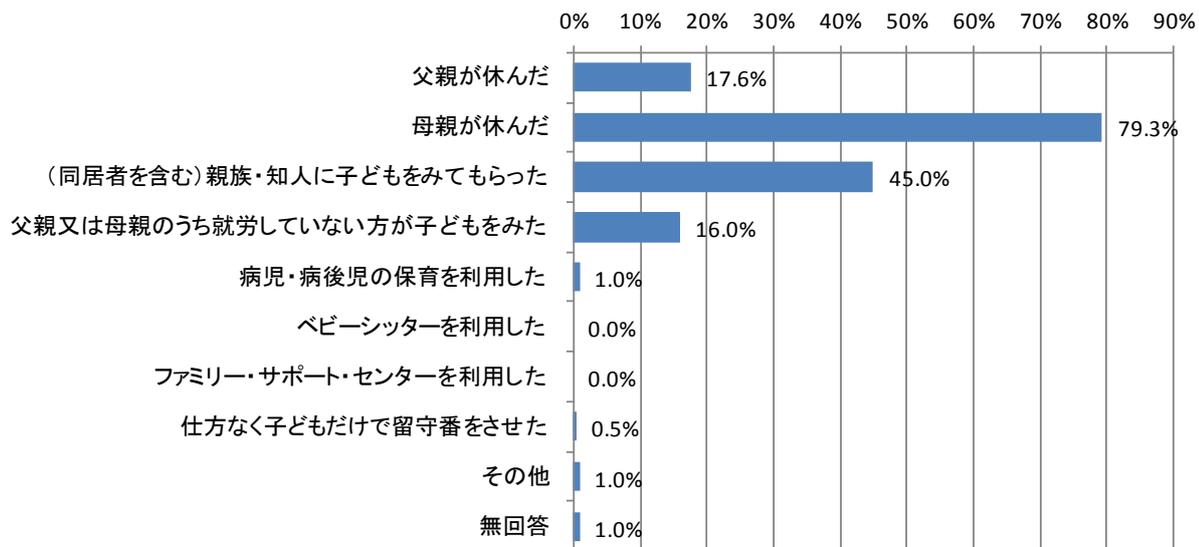
平日の定期的な教育・保育の事業の利用者のうち、子どもの病気やケガで通常の事業が利用できなかった経験は、「あった」の割合が73.3%に対し、「なかった」が23.2%と、「あった」の割合が上回っています。



項目	度数	構成比
あった	420	73.3%
なかった	133	23.2%
無回答	20	3.5%
回答者数	573	100.0%
非該当	232	-

問 22-1 宛名のお子さんが病気やけがで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法として当てはまる記号すべてに○をつけ、それぞれの日数も□内に数字でご記入ください（半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください。数字は一桁に一字）。

子どもの病気やケガで通常の事業が利用できなかった場合の、この1年間に行った対処方法は、「母親が休んだ」の割合が79.3%と最も高く、次いで「(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった」が45.0%、「父親が休んだ」が17.6%となっています。



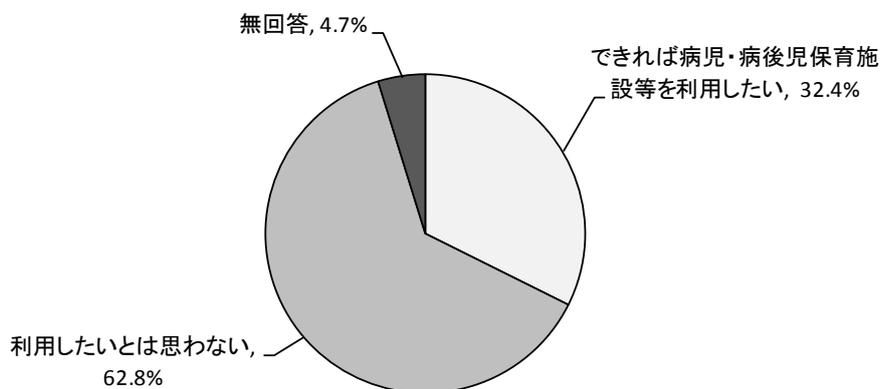
項目	度数	構成比
父親が休んだ	74	17.6%
母親が休んだ	333	79.3%
(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった	189	45.0%
父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	67	16.0%
病児・病後児の保育を利用した	4	1.0%
ベビーシッターを利用した	0	0.0%
ファミリー・サポート・センターを利用した	0	0.0%
仕方なく子どもだけで留守番をさせた	2	0.5%
その他	4	1.0%
無回答	4	1.0%
回答者数	420	-
非該当	385	-

問 22-1 で「ア.」「イ.」のいずれかに回答した方にうかがいます。

問 22-2 その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。当  
てはまる番号 1 つに○をつけ、日数についても口内に数字でご記入ください(数字は一桁に一字)。  
なお、病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医  
の受診が必要となります。

子どもの病気やケガで通常の事業が利用できなかった場合の、病児・病後児保育施設の利用希望  
は、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」の割合が 32.4%に対し、「利用したいとは思  
わない」が 62.8%となっています。

また、利用希望日数は、「1日～3日」の割合が 37.1%と最も高くなっています。

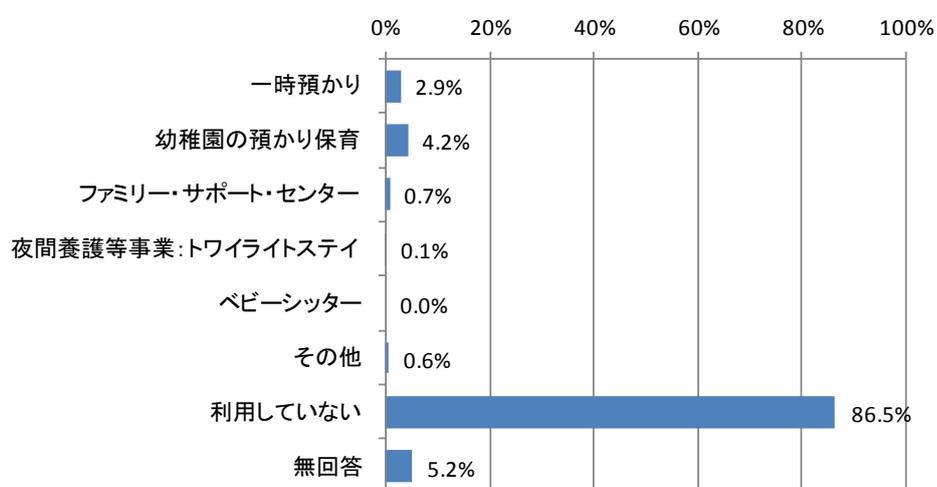


項目	度数	構成比
できれば病児・病後児保育施設等を利用したい	116	32.4%
利用したいとは思わない	225	62.8%
無回答	17	4.7%
回答者数	358	100.0%
非該当	447	-

## 9 宛名のお子さんの不特定の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について

問 23 宛名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、**私用、親の通院、不特定の就労等の目的で不定期に**利用している事業はありますか。ある場合は、当てはまる番号すべてに○をつけ、1年間の利用日数（おおよそ）も口内に**数字**でご記入ください（数字は一桁に一字）。

日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不特定の就労等の目的で不定期に利用している事業は、「一時預かり（2.9%）」「幼稚園の預かり保育（4.2%）」の割合がそれぞれ数パーセントとなっており、「利用していない」の割合が86.5%と高くなっています。

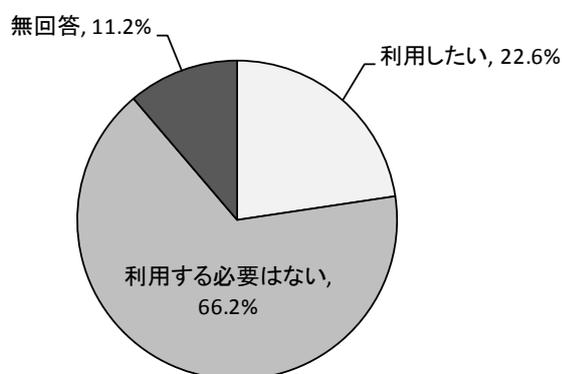


項目	度数	構成比
一時預かり(私用など理由を問わずに保育所などで一時的に子どもを保育する事業)	23	2.9%
幼稚園の預かり保育(通常の就園時間を延長して預かる事業のうち不定期に利用する場合のみ)	34	4.2%
ファミリー・サポート・センター(地域住民が子どもを預かる事業)	6	0.7%
夜間養護等事業:トワイライトステイ(児童養護施設等で休日・夜間、子どもを保護する事業)	1	0.1%
ベビーシッター	0	0.0%
その他	5	0.6%
利用していない	696	86.5%
無回答	42	5.2%
回答者数	805	-

問 24 宛名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。利用希望の有無について当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な日数をご記入ください（利用したい日数の合計と、目的別の内訳の日数を口内に数字でご記入ください。数字は一桁一字）。なお事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

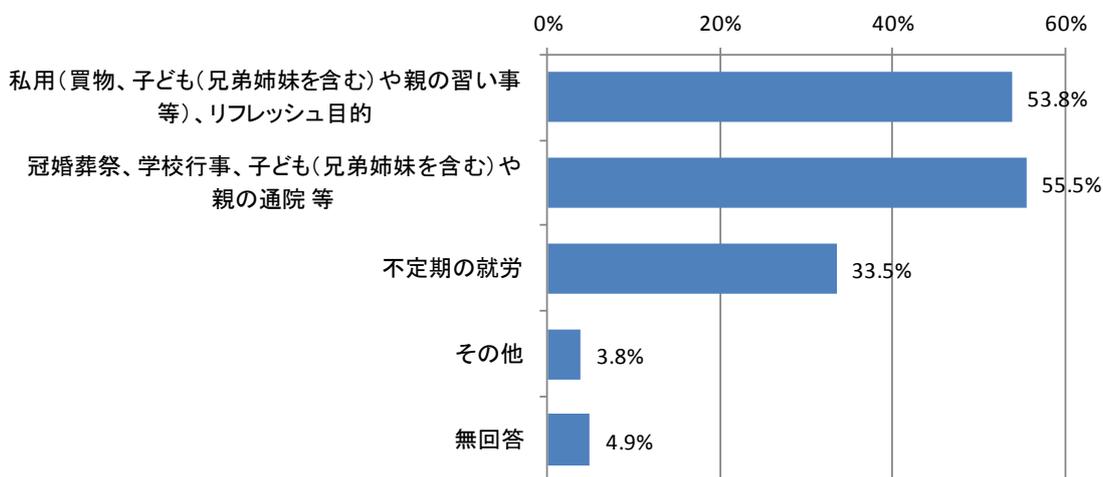
私用、親の通院、不定期の就労等の目的での事業の利用希望は、「利用したい」の割合が 22.6% に対し、「利用する必要はない」が 66.2% となっています。

また、利用目的別では、「私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的（53.8%）」「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等（55.5%）」の割合がいずれも 5 割を超え高く、年間利用日数の合計では、「4 日～7 日（20.3%）」「8 日～10 日（18.1%）」「11 日～20 日（20.3%）」の割合がそれぞれ 2 割前後と比較的高くなっています。



項目	度数	構成比
利用したい	182	22.6%
利用する必要はない	533	66.2%
無回答	90	11.2%
回答者数	805	100.0%

#### ■ 利用目的

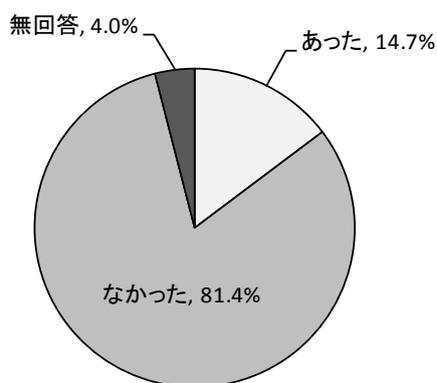


項目	度数	構成比
私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的	98	53.8%
冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等	101	55.5%
不定期の就労	61	33.5%
その他	7	3.8%
無回答	9	4.9%
回答者数	182	-
非該当	623	-

問 25 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、宛名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか（預け先が見つからなかった場合も含みます）。あった場合は、この1年間の対処方法として当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数も口内に数字でご記入ください（数字は一桁一字）。

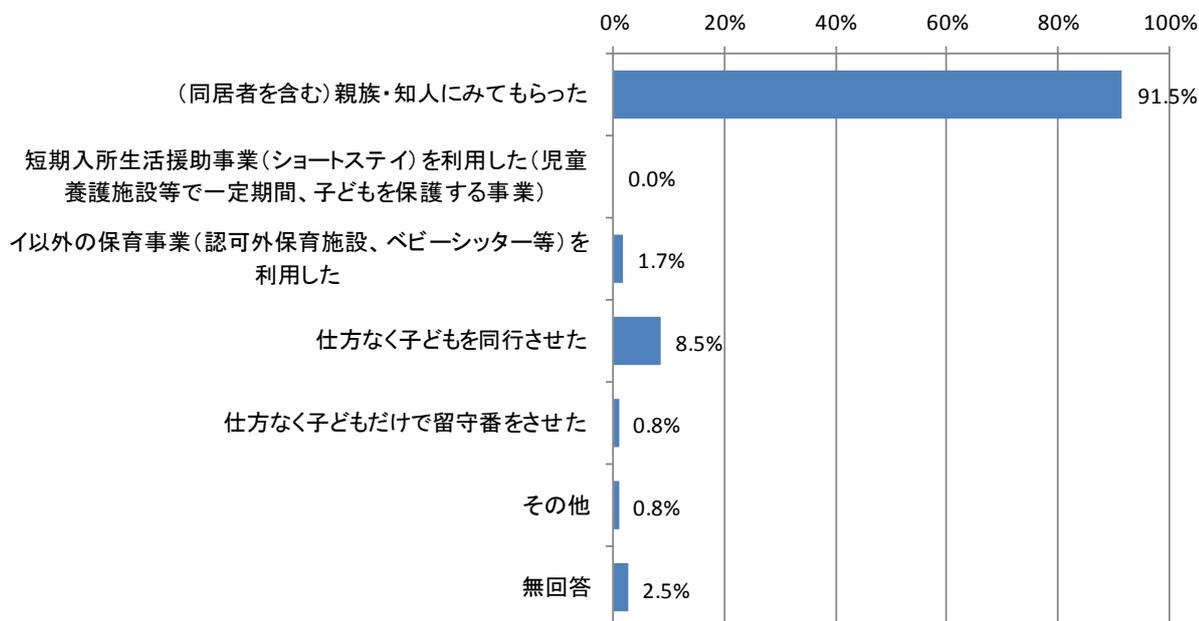
この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、子どもを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことがあった経験は、「あった」の割合が14.7%に対し、「なかった」が81.4%となっています。

また、そのときの対処方法は、「（同居者を含む）親族・知人にみてもらった」の割合が91.5%と最も高く、その年間対処日数は「1日～3日」の割合が50.9%と最も高くなっています。



項目	度数	構成比
あった	118	14.7%
なかった	655	81.4%
無回答	32	4.0%
回答者数	805	100.0%

#### ■ 対処方法



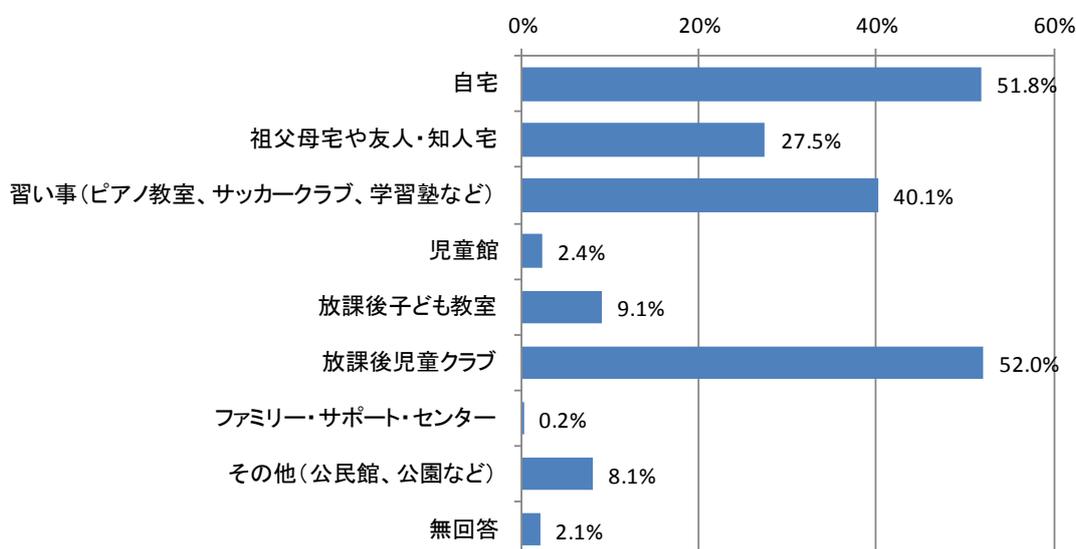
項目	度数	構成比
(同居者を含む)親族・知人にみてもらった	108	91.5%
短期入所生活援助事業(ショートステイ)を利用した(児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業)	0	0.0%
イ以外の保育事業(認可外保育施設、ベビーシッター等)を利用した	2	1.7%
仕方なく子どもを同行させた	10	8.5%
仕方なく子どもだけで留守番をさせた	1	0.8%
その他	1	0.8%
無回答	3	2.5%
回答者数	118	-
非該当	687	-

## 10 宛名のお子さんが小学校に入学してからの放課後の過ごし方について

問 26 宛名のお子さんについて、小学校低学年（1～3年生）のうちは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週当たり日数を数字でご記入ください。また、「放課後児童クラブ」の場合には、利用を希望する時間も口内に数字でご記入ください。時間は必ず（例）18時 のように24時間制でご記入ください。

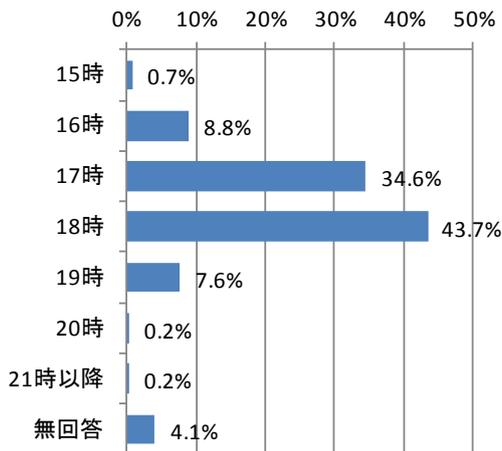
（数字は一桁に一字）。

小学校低学年（1～3年生）のうちの希望する子どもの放課後の過ごし方は、「放課後児童クラブ〔学童保育〕」の割合が52.0%と最も高く、「自宅」の割合も51.8%と同程度に高くなっています。また、「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」の割合も40.1%と比較的高くなっています。



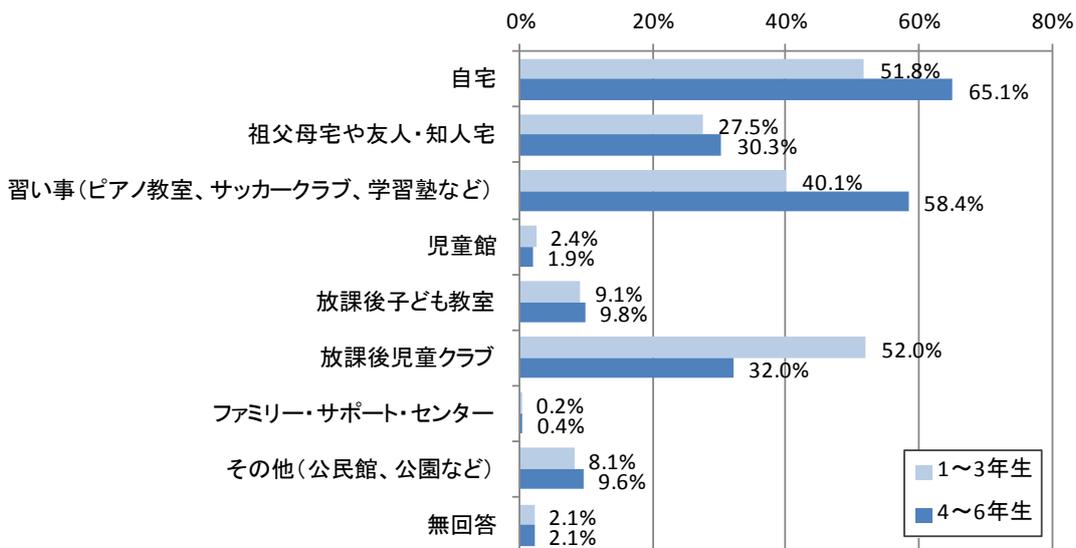
項目	度数	構成比
自宅	417	51.8%
祖父母宅や友人・知人宅	221	27.5%
習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)	323	40.1%
児童館	19	2.4%
放課後子ども教室	73	9.1%
放課後児童クラブ〔学童保育〕	419	52.0%
ファミリー・サポート・センター	2	0.2%
その他(公民館、公園など)	65	8.1%
無回答	17	2.1%
回答者数	805	-

(放課後児童クラブの利用希望時間 退所時間)



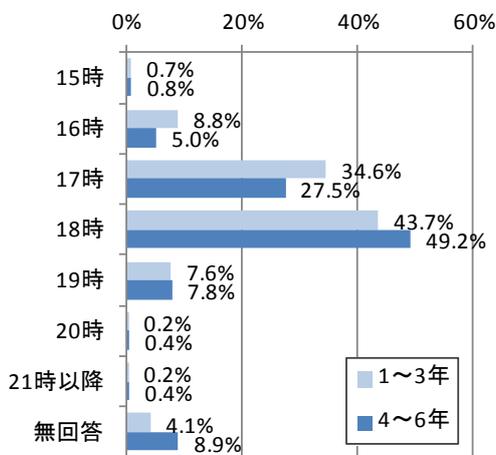
問 27 宛名のお子さんについて、小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの週当たり日数を数字でご記入ください。また、「放課後児童クラブ」の場合には利用を希望する時間も口内数字でご記入ください。時間は、必ず（例）18時のように24時間制でご記入ください。（数字は一枠に一字）。

小学校低学年（4～6年生）になったら希望する子どもの放課後の過ごし方は、「自宅」の割合が65.1%と最も高く、「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」の割合も58.4%と同程度に高くなっています。また、「放課後児童クラブ〔学童保育〕」の割合は、1～3年生のときと比べ減少し、32.0%となっています。



項目	度数	構成比
自宅	524	65.1%
祖父母宅や友人・知人宅	244	30.3%
習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)	470	58.4%
児童館	15	1.9%
放課後子ども教室	79	9.8%
放課後児童クラブ[学童保育]	258	32.0%
ファミリー・サポート・センター	3	0.4%
その他(公民館、公園など)	77	9.6%
無回答	17	2.1%
回答者数	805	-

(放課後児童クラブの利用希望時間 退所時間)



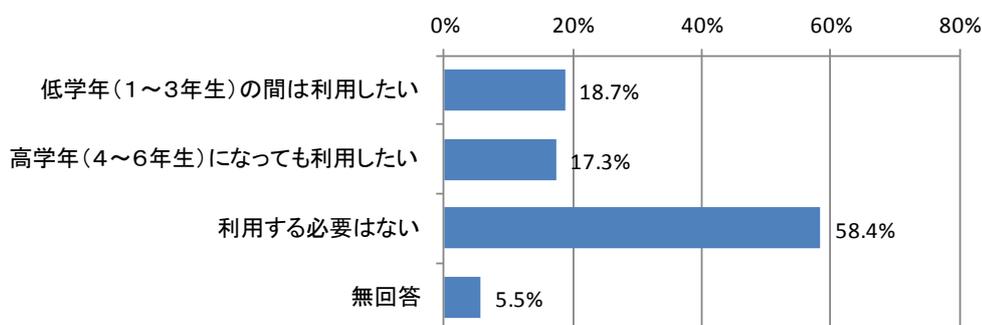
問 28 問 26 または問 27 で「6. 放課後児童クラブ（学童保育）」に○をつけた方にうかがいます。宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、放課後児童クラブの利用希望はありますか。事業の利用には、一定の利用料がかかります。（1）（2）それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、口内に（例）09時～18時のように24時間制でご記入ください。（数字は一枠に一字）。

### （1）土曜日

子どもの放課後の過ごし方で、放課後児童クラブを望んでいる保護者のうち、土曜日の利用希望は、「低学年（1～3年生）の間は利用したい」の割合が18.7%に対し、「高学年（4～6年生）になっても利用したい」が17.3%となっています。

また、「利用する必要はない」の割合は58.4%となっています。

さらに、希望する登所時刻については、「8時（42.3%）」「9時（39.1%）」、帰所時刻については、「16時（19.9%）」「17時（24.4%）」「18時（32.7%）」の割合が比較的高くなっています。1日あたりの利用希望時間は、「7時間～10時間」の割合が69.9%と最も高くなっています。



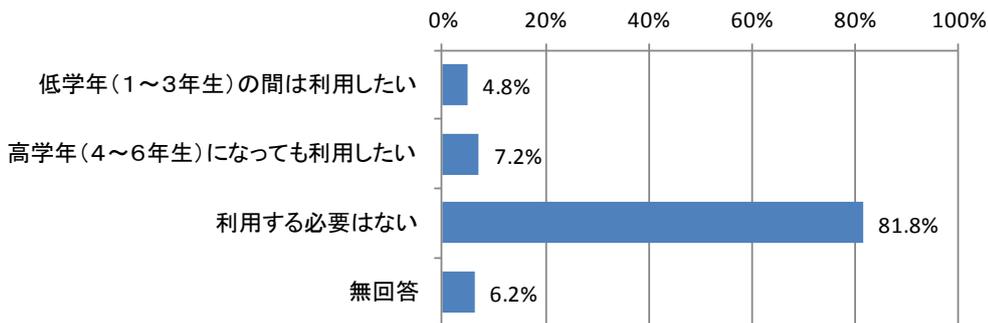
土曜日	度数	構成比
低学年（1～3年生）の間は利用したい	81	18.7%
高学年（4～6年生）になっても利用したい	75	17.3%
利用する必要はない	253	58.4%
無回答	24	5.5%
回答者数	433	100.0%
非該当	372	-

## (2) 日曜・祝日

子どもの放課後の過ごし方で、放課後児童クラブを望んでいる保護者のうち、日曜・祝日の利用希望は、「低学年（1～3年生）の間は利用したい」の割合が4.8%に対し、「高学年（4～6年生）になっても利用したい」が7.2%とともに低くなっています。

また、「利用する必要はない」の割合は81.8%となっています。

さらに、希望する登所時刻については、「8時（51.9%）」「9時（32.7%）」、帰所時刻については、「16時（17.3%）」「17時（21.2%）」「18時（38.5%）」の割合が比較的高くなっています。1日あたりの利用希望時間は、「7時間～10時間」の割合が75.0%と最も高くなっています。



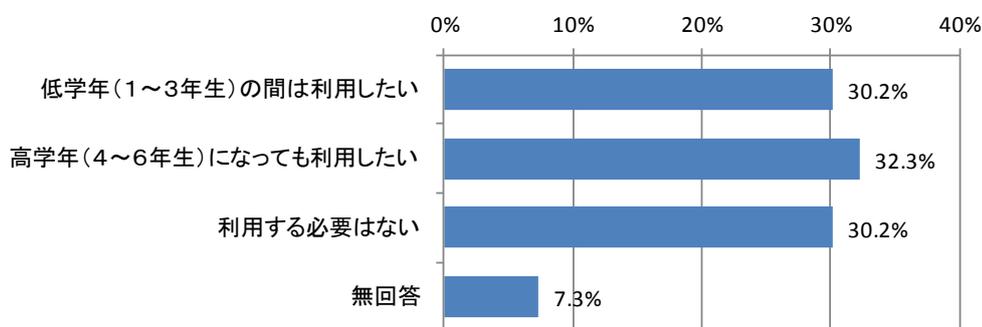
日曜・祝日	度数	構成比
低学年(1～3年生)の間は利用したい	21	4.8%
高学年(4～6年生)になっても利用したい	31	7.2%
利用する必要はない	354	81.8%
無回答	27	6.2%
回答者数	433	100.0%
非該当	372	-

問 29 宛名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の放課後児童クラブの利用希望はありますか。事業の利用には、一定の利用料がかかります。当てはまる番号1つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、口内に（例）09時～18時のように24時間制でご記入ください。（数字は一枠に一字）。

子どもの放課後の過ごし方で、放課後児童クラブを望んでいる保護者のうち、夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の利用希望は、「低学年（1～3年生）の間は利用したい」の割合が30.2%に対し、「高学年（4～6年生）になっても利用したい」が32.3%となっています。

また、「利用する必要はない」の割合は30.2%となっています。

さらに、希望する登所時刻については、「8時（48.7%）」「9時（38.8%）」、帰所時刻については、「16時（19.7%）」「17時（30.6%）」「18時（36.4%）」の割合が比較的高くなっています。1日あたりの利用希望時間は、「7時間～10時間」の割合が82.3%と最も高くなっています。

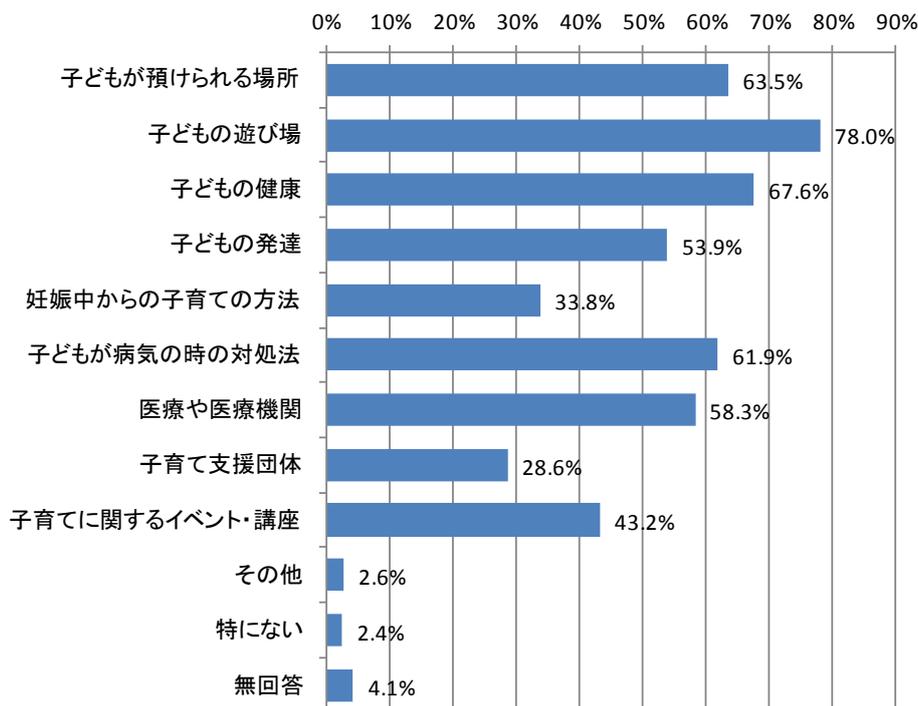


長期休暇期間	度数	構成比
低学年(1～3年生)の間は利用したい	243	30.2%
高学年(4～6年生)になっても利用したい	260	32.3%
利用する必要はない	243	30.2%
無回答	59	7.3%
回答者数	805	100.0%

## 12 子育ての情報や環境、子育てへの意識、市の施策について

問 31 子育てに関して、どのような情報が必要ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

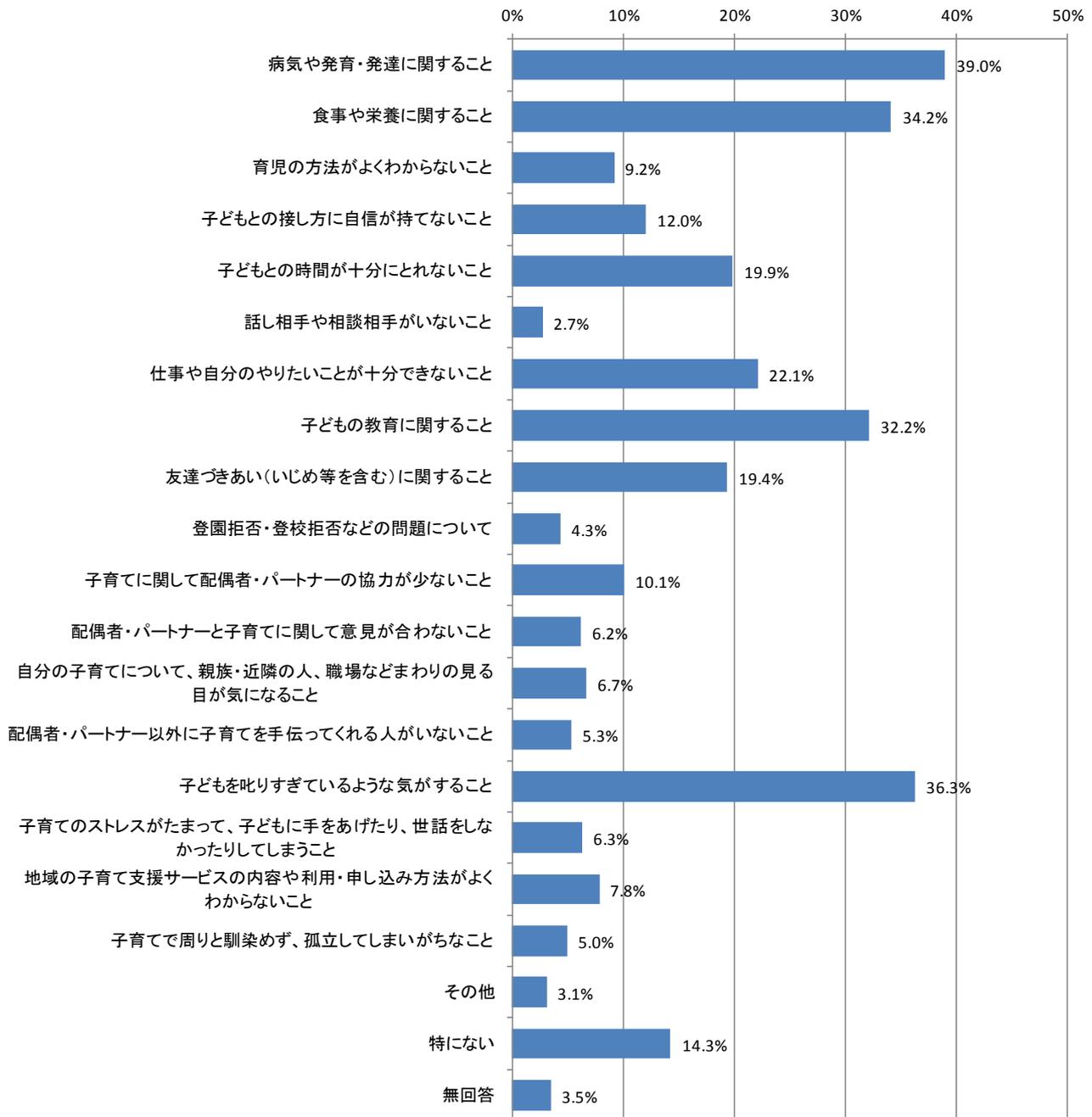
子育てに関する必要な情報としては、「子どもの遊び場（公園、児童館、公共施設などで行っている活動、育児サークルなど）」の割合が78.0%と最も高く、次いで「子どもの健康（病気のこと、離乳食などの食に関すること、予防接種の情報など）」が67.6%、「子どもが預けられる場所（保育所、幼稚園、一時預かり、ファミリー・サポート・センターなど）」が63.5%となっています。



項目	度数	構成比
子どもが預けられる場所（保育所、幼稚園、一時預かり、ファミリー・サポート・センターなど）	511	63.5%
子どもの遊び場（公園、児童館、公共施設などで行っている活動、育児サークルなど）	628	78.0%
子どもの健康（病気のこと、離乳食などの食に関すること、予防接種の情報など）	544	67.6%
子どもの発達（発達段階ごとの子どもの成長、発達心理学、発達障害など）	434	53.9%
妊娠中からの子育ての方法（妊娠中の生活、検査・検診などの出産準備情報など）	272	33.8%
子どもが病気の時の対処法	498	61.9%
医療や医療機関	469	58.3%
子育て支援団体	230	28.6%
子育てに関するイベント・講座	348	43.2%
その他	21	2.6%
特にない	19	2.4%
無回答	33	4.1%
回答者数	805	-

**問 32 子育てに関して、日常悩んでいること、または気になることはどのようなことですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。**

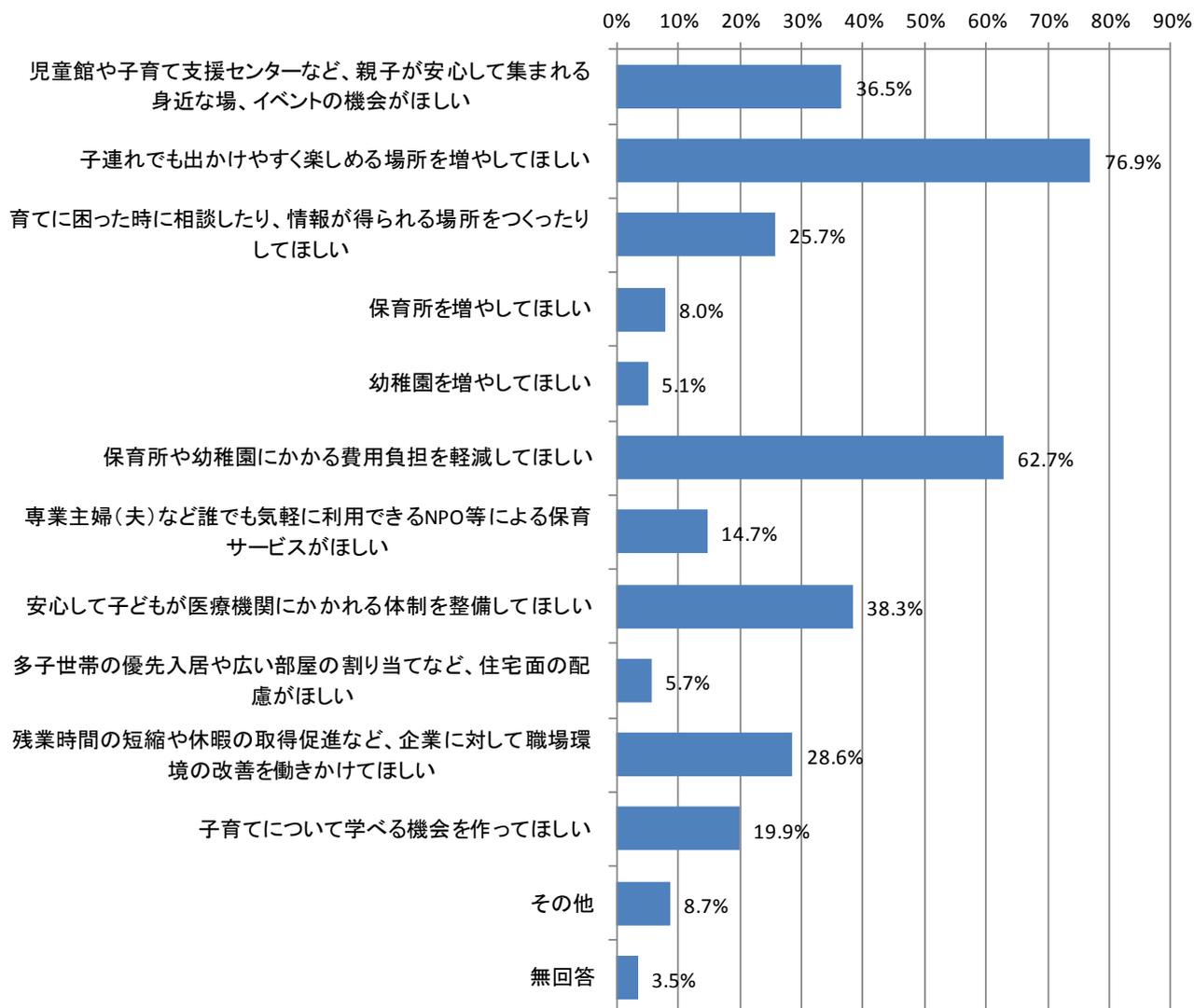
子育てに関する悩みや気になることは、「病気や発育・発達に関すること（39.0%）」「食事や栄養に関すること（34.2%）」「子どもの教育に関すること（32.2%）」「子どもを叱りすぎているような気がする（36.3%）」の割合がそれぞれ3割を超え高くなっています。



項目	度数	構成比
病気や発育・発達に関すること	314	39.0%
食事や栄養に関すること	275	34.2%
育児の方法がよくわからないこと	74	9.2%
子どもとの接し方に自信が持てないこと	97	12.0%
子どもとの時間が十分にとれないこと	160	19.9%
話し相手や相談相手がいないこと	22	2.7%
仕事や自分のやりたいことが十分できないこと	178	22.1%
子どもの教育に関すること	259	32.2%
友達つきあい(いじめ等を含む)に関すること	156	19.4%
登園拒否・登校拒否などの問題について	35	4.3%
子育てに関して配偶者・パートナーの協力が少ないこと	81	10.1%
配偶者・パートナーと子育てに関して意見が合わないこと	50	6.2%
自分の子育てについて、親族・近隣の人、職場などまわりの見目が気になること	54	6.7%
配偶者・パートナー以外に子育てを手伝ってくれる人がいないこと	43	5.3%
子どもを叱りすぎているような気がする	292	36.3%
子育てのストレスがたまって、子どもに手をあげたり、世話をしなかったりしてしまうこと	51	6.3%
地域の子育て支援サービスの内容や利用・申し込み方法がよくわからないこと	63	7.8%
子育てで周りと同様ならず、孤立してしまいがちなこと	40	5.0%
その他	25	3.1%
特になし	115	14.3%
無回答	28	3.5%
回答者数	805	-

**問 33 市に対して、どのような子育て支援の充実を図ってほしいと期待していますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。**

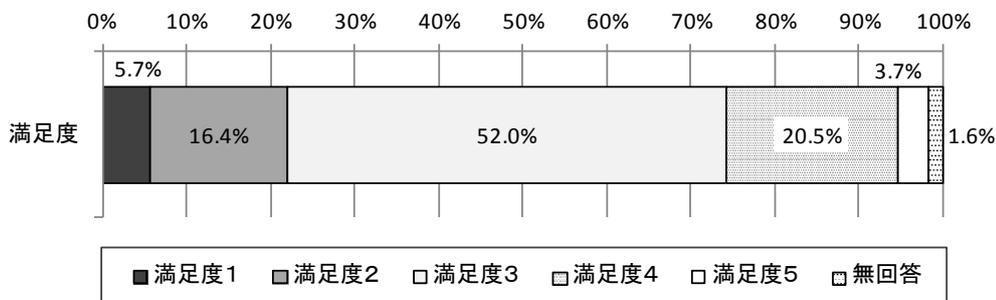
市の子育て支援の充実を期待することは、「子連れでも出かけやすく楽しめる場所を増やしてほしい」の割合が76.9%と最も高く、次いで「保育所や幼稚園にかかる費用負担を軽減してほしい」が62.7%、「安心して子どもが医療機関にかかる体制を整備してほしい」が38.3%となっています。



項目	度数	構成比
児童館や子育て支援センターなど、親子が安心して集まれる身近な場、イベントの機会がほしい	294	36.5%
子連れでも出かけやすく楽しめる場所を増やしてほしい	619	76.9%
育てに困った時に相談したり、情報が得られる場所をつくったりしてほしい	207	25.7%
保育所を増やしてほしい	64	8.0%
幼稚園を増やしてほしい	41	5.1%
保育所や幼稚園にかかる費用負担を軽減してほしい	505	62.7%
専業主婦(夫)など誰でも気軽に利用できる NPO 等による保育サービスがほしい	118	14.7%
安心して子どもが医療機関にかかれる体制を整備してほしい	308	38.3%
多子世帯の優先入居や広い部屋の割り当てなど、住宅面の配慮がほしい	46	5.7%
残業時間の短縮や休暇の取得促進など、企業に対して職場環境の改善を働きかけてほしい	230	28.6%
子育てについて学べる機会を作してほしい	160	19.9%
その他	70	8.7%
無回答	28	3.5%
回答者数	805	-

**問 34 お住まいの地域における子育ての環境や支援への満足度について当てはまる番号に1つに○をつけてください。**

住まいの地域における子育て環境や支援への満足度は、「満足（「満足度4」と「満足度5」の合計）」の割合が 24.2%に対し、「不満（「満足度1」と「満足度2」の合計）」が 22.1%と、満足の割合がやや上回っています。



※満足度1（低い）⇔ 満足度5（高い）

項目	度数	構成比
満足度1	46	5.7%
満足度2	132	16.4%
満足度3	419	52.0%
満足度4	165	20.5%
満足度5	30	3.7%
無回答	13	1.6%
回答者数	805	100.0%

# 市町村子ども・子育て支援事業計画 における「量の見込み」の算出

## 1 全国共通で「量の見込み」を算出する項目

図表 1 全国共通で「量の見込み」を算出する項目

	対象事業	対象児童年齢
1	教育標準時間認定（認定こども園および幼稚園） ＜専業主婦（夫）家庭、就労時間短家庭＞	3～5歳
2	保育認定①（幼稚園） ＜共働きであるが幼稚園利用のみの家庭＞	3～5歳
	保育認定②（認定こども園及び保育所）	3～5歳
3	保育認定③（認定こども園及び保育所＋地域型保育）	0歳、1・2歳
4	時間外保育事業	0～5歳
5	放課後児童健全育成事業	1～3年生、4～6年生
6	子育て短期支援事業（ショートステイ・トワイライト別）	0～18歳
7	地域子育て支援拠点事業	0～2歳
8	一時預かり事業 ・幼稚園における在園児を対象とした一時預かり ・その他	3～5歳
		0～5歳
9	病児保育事業	0～5歳、1～6年生
10	子育て援助活動支援事業 （ファミリー・サポート・センター事業）	0～5歳、1～3年生、 4～6年生
11	利用者支援事業	0～5歳、1～6年生

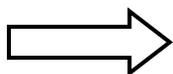
## 2 量の見込みの具体的算出方法（概略）

### Step 1 家庭類型の分類

図表 2 家庭類型の種類

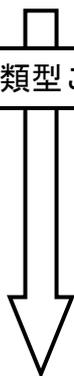
	対象事業	対象児童年齢
タイプ A	ひとり親家庭	
タイプ B	フルタイム×フルタイム	
タイプ C	フルタイム×パートタイム (就労時間：月 120 時間以上＋下限時間～120 時間の一部 )	
タイプ C'	フルタイム×パートタイム (就労時間：月下限時間未満＋下限時間～120 時間の一部)	
タイプ D	専業主婦（夫）	
タイプ E	パートタイム×パートタイム (就労時間：双方が月 120 時間以上＋下限時間～120 時間の一部)	
タイプ E'	パートタイム×パートタイム (就労時間：いずれかが月下限時間未満＋下限時間～120 時間の一部)	
タイプ F	無業×無業	

※各自治体における保育の必要性の下限時間（48 時間～64 時間の間で市町村が定める時間）を「下限時間」と記載。以下同じ。



「現在」と「潜在（就労希望）」に分け、家族類型を分類

### Step 2 家族類型ごとの現在の教育・保育事業の利用状況及び利用意向を勘案



児童人口推計  
H27 年度～H31 年度  
(0～11 歳)

### Step 3 家族類型及び認定区分ごとの教育・保育事業などのニーズ量を算出

#### 保育の必要性の認定

- 1号認定子ども：満 3 歳以上の学校教育のみ（保育の必要性なし）の就学前子ども
- 2号認定子ども：満 3 歳以上の保育の必要性の認定を受けた就学前子ども（保育を必要とする子ども）
- 3号認定子ども：満 3 歳未満の保育の必要性の認定を受けた就学前子ども（保育を必要とする子ども）